
人口推計報告書

平成26年12月
白井市

目 次

1	はじめに	1
2	本市の人口動向	2
	(1) 総人口の推移	2
	(2) 年齢3区分別人口の推移	2
	(3) 自然動態	4
	(4) 社会動態	4
	(5) 世帯数の推移	5
3	人口推計の方法	7
	(1) 推計手法	7
	(2) 推計期間	7
	(3) 基準人口	7
	(4) 推計の前提	8
4	人口推計結果	14
	(1) 推計人口	14
	(2) 年齢3区分別推計人口	14
	(3) 高齢者人口	16
	(4) 男女別年齢5歳階層別推計人口	17
	(5) 人口ピラミッド	18
5	世帯数の推計	19
	(1) 推計手法	19
	(2) 推計期間	19
	(3) 推計の前提	19
	(4) 推計結果	20
6	小学校区別人口の推計	23
	(1) 推計方法	23
	(2) 推計結果	24
7	住民基本台帳人口の推計（参考）	35
	(1) 推計方法	35
	(2) 推計結果	35
8	住民基本台帳世帯数の推計（参考）	36
	(1) 推計方法	36
	(2) 推計結果	36
	資料	37
	1 推計結果の比較	38
	2 社人研の「日本の地域別将来推計人口（平成25年3月推計）」との比較	38
	3 国勢調査各年男女別年齢5歳階層別推計人口	39

1 はじめに

本人口推計は、白井市第5次総合計画（計画期間：平成28年度～平成37年度）の策定に向けた基礎資料を得るために実施するものです。

日本全体の人口は、少子化及び高齢化の進展に伴い、平成16年をピークに減少局面に入り、人口減少時代へと突入しました。全国的な人口の減少や少子化及び高齢化の進展は、本市の人口にも大きな影響を与えるものと考えられます。

このような中、本市では、白井市第4次総合計画の計画期間が平成27年度末に終了することから、平成28年度から10年間を見据えたまちづくりの指針として白井市第5次総合計画の策定に取り組んでいます。

白井市第5次総合計画の策定に当たり、本市における将来人口の規模や構成を的確に把握し、将来の施策や行政需要、財政フレームを見通すことが重要であるため、白井市第5次総合計画基本構想の目標年次である平成37年度までの人口について推計し、当該計画の策定に反映させます。

2 本市の人口動向

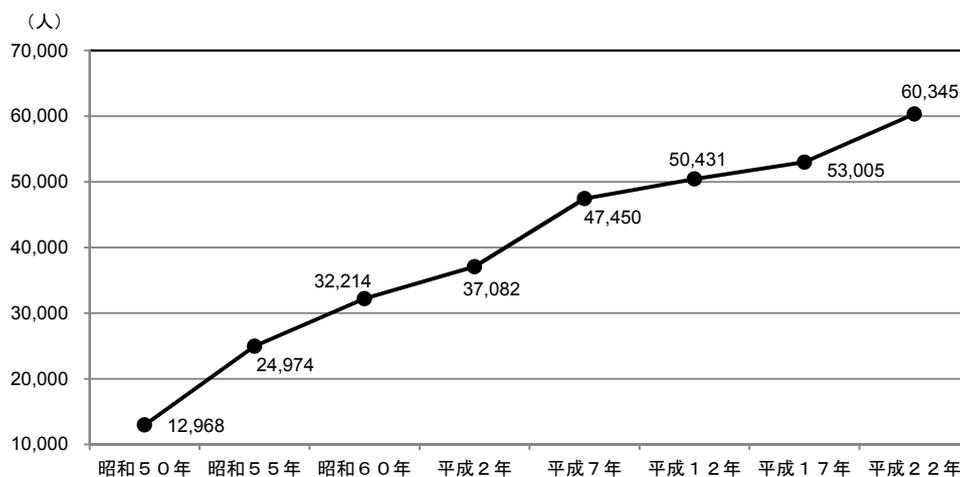
(1) 総人口の推移

本市の国勢調査における総人口（年齢不詳を含む）は、昭和50年は12,968人でしたが、昭和54年の千葉ニュータウンの街開きにより、急速に人口は増加し続け、平成7年には47,450人となりました。

平成7年以後も緩やかに増加し続け、平成12年には50,000人を超えました。

平成17年から平成22年にかけては、西白井地区での土地区画整理事業、笹塚地区におけるニュータウン事業、根地区や富士地区の市街化調整区域におけるスプロール的な開発等により、再び増加傾向が強まり、平成22年には60,345人となりました。

図表2-1 総人口の推移



(資料) 国勢調査

(2) 年齢3区分別人口の推移

本市の国勢調査における総人口（年齢不詳を含まない）を、年少人口（0歳～14歳）、生産年齢人口（15歳～64歳）、高齢者人口（65歳以上）の3区分に分類し、人口及び人口比率の推移について分析します。

① 年少人口

年少人口の推移をみると、昭和50年には3,537人でしたが、その後急速に増加し、昭和60年には9,454人となりました。昭和60年以後は、増減を繰り返し、平成22年は昭和60年と同程度の9,575人となりました。

年少人口比率の推移をみると、昭和55年の32.2%をピークに減少傾向となっていました。平成22年は若干増加して、ピーク時の約半分の15.9%となりました。

② 生産年齢人口

生産年齢人口の推移をみると、昭和50年には8,572人でしたが、その後急速に増加し、平成7年には34,706人となりました。平成7年以後も緩やかに増加し続け、平成22年には39,855人となりました。

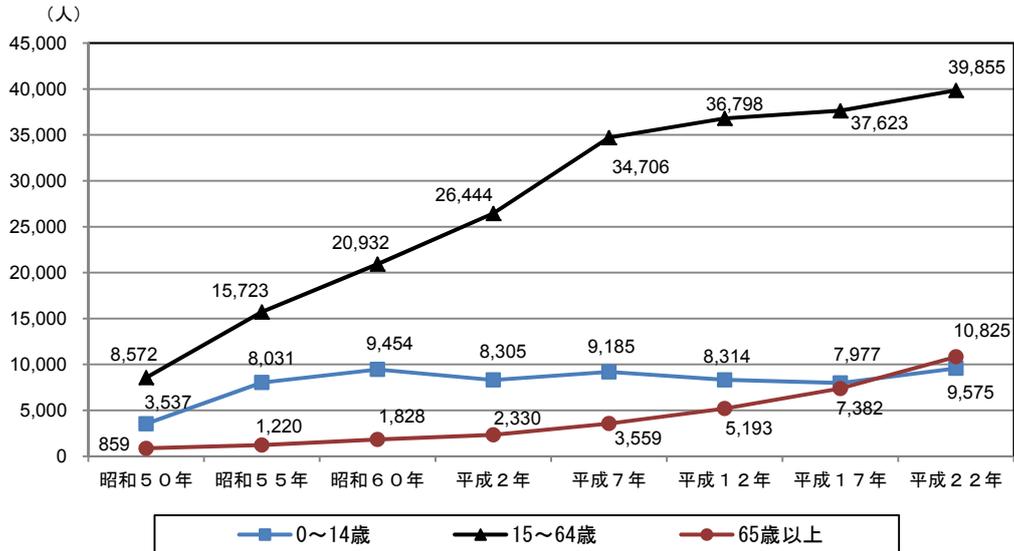
生産年齢人口比率の推移をみると、昭和55年以後増加傾向でしたが、平成7年をピークに減少に転じ、平成22年には昭和50年と同程度の66.0%となりました。

③高齢者人口

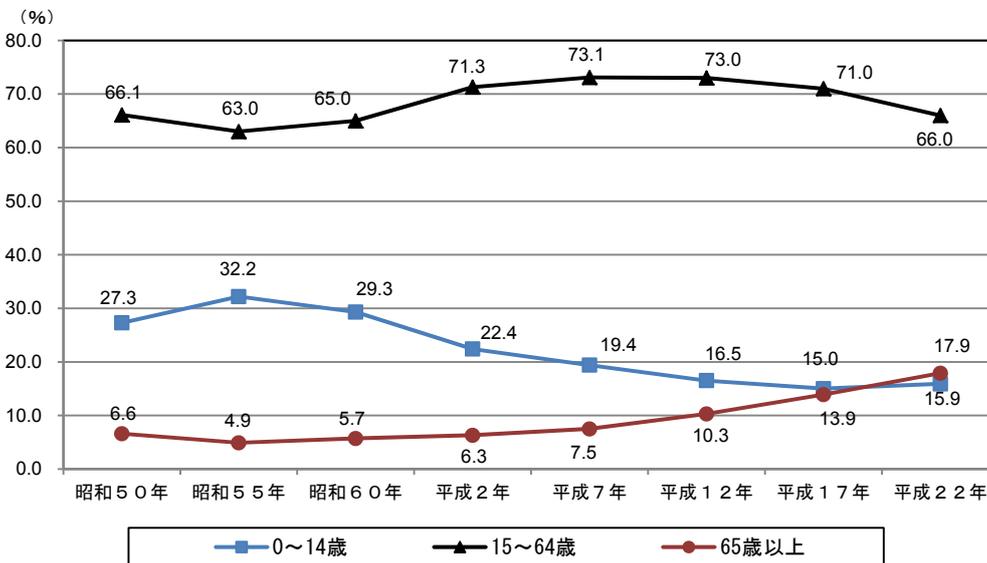
高齢者人口の推移をみると、昭和50年には859人でしたが、その後増加し続け、平成22年には10,825人となり、初めて年少人口を上回りました。

高齢者人口比率の推移をみると、昭和55年以後増加し続け、平成22年には年少人口比率を上回る17.9%となりました。

図表2-2 年齢3区分別人口の推移



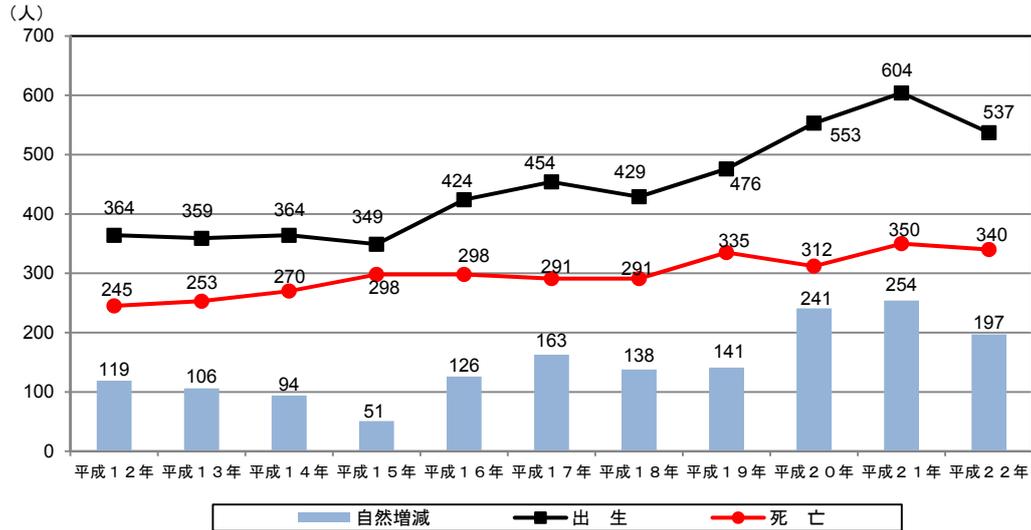
図表2-3 年齢3区分別人口比率の推移



(3) 自然動態

本市の出生数は、平成12年から平成15年まで300人台半ばで推移していましたが、平成15年以後増加傾向に転じ、平成21年には604人となりました。死亡数については、高齢者の増加とともに緩やかな増加傾向となっていますが、出生数が死亡数を上回っているため、自然増が続いている状況です。

図表2-4 自然動態

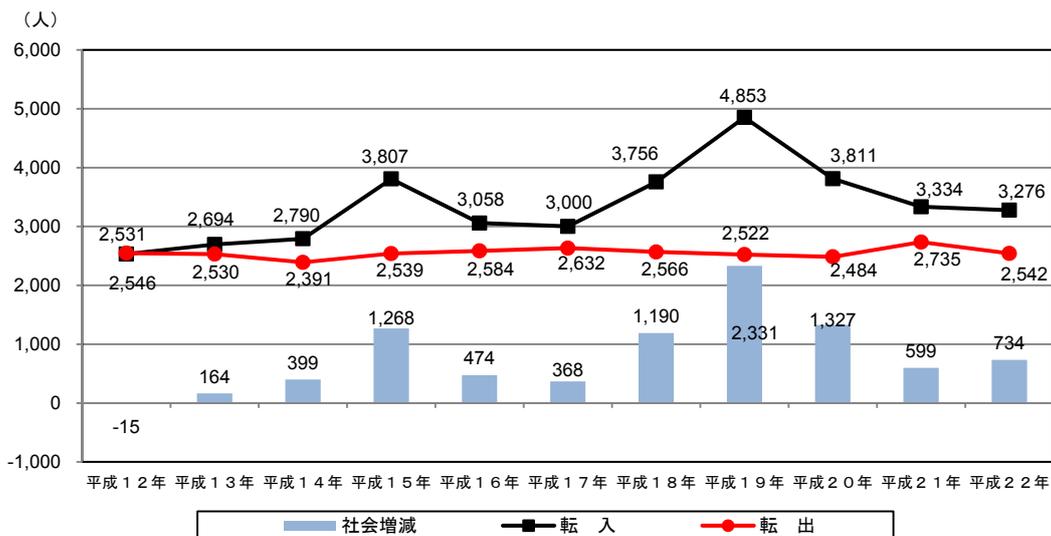


(資料) 千葉県毎月常住人口調査

(4) 社会動態

本市の転入数は、平成15年にはけやき台におけるニュータウン事業等により、平成19年には西白井地区での土地区画整理事業や笹塚地区におけるニュータウン事業等により転入数が突出しています。転出数は、平成12年以後おおむね横ばいで推移しており、平成13年以後は社会増が続いている状況です。

図表2-5 社会動態



(資料) 千葉県毎月常住人口調査

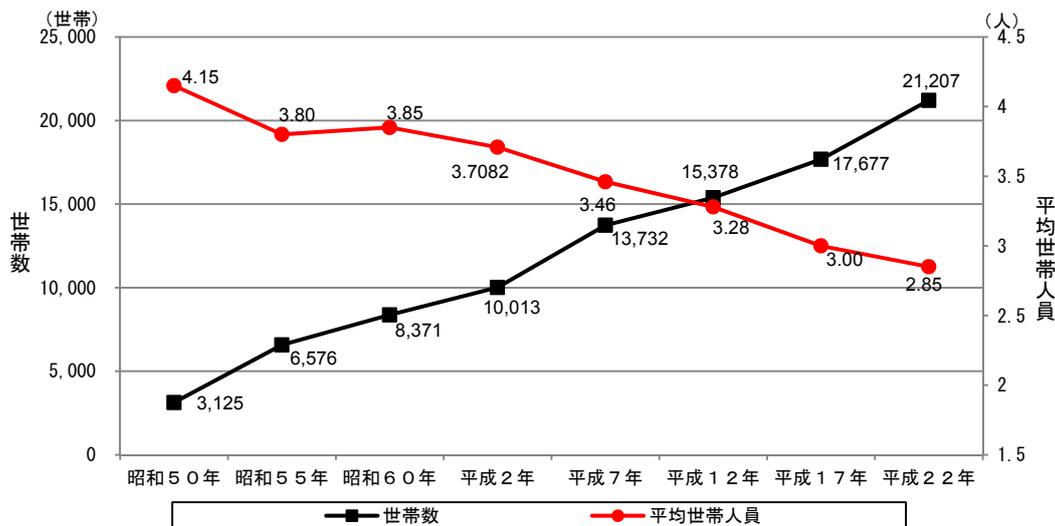
(5) 世帯数の推移

① 総世帯数の推移

本市の国勢調査における総世帯数は、一貫して増加傾向にあり、昭和50年には3,125世帯でしたが、平成22年には21,207世帯となりました。

一方で、平均世帯人員は、減少傾向にあり、昭和50年には4.15人でしたが、平成22年には2.85人となりました。

図表2-6 世帯数及び平均世帯人員の推移

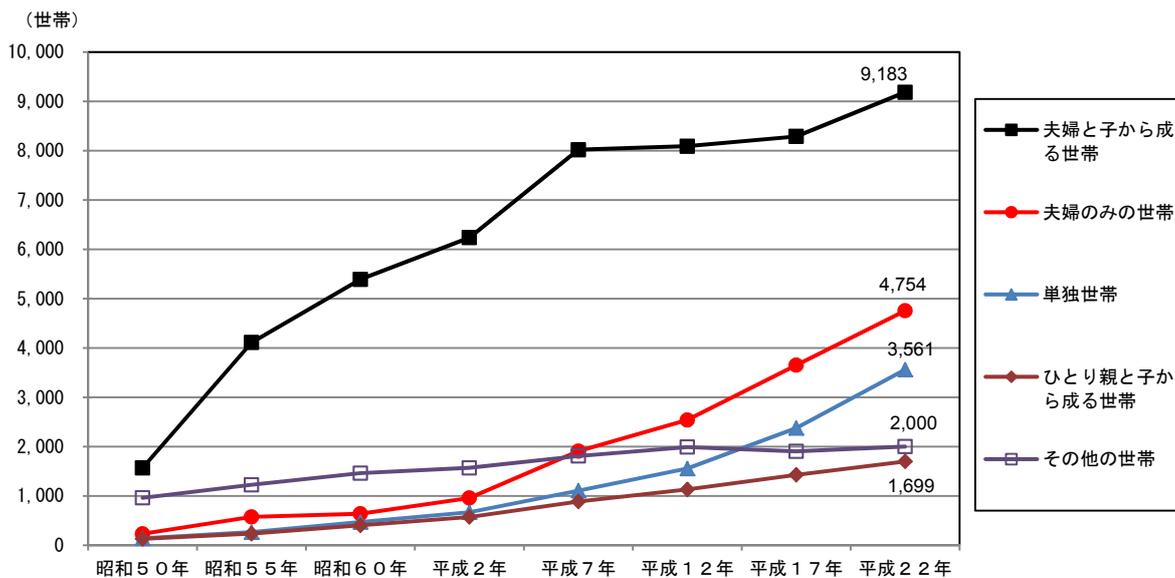


(資料) 国勢調査

② 家族類型別世帯数の推移

本市の国勢調査における家族類型別世帯数については、総世帯数の増加に伴い、全ての家族類型において増加傾向にあります。

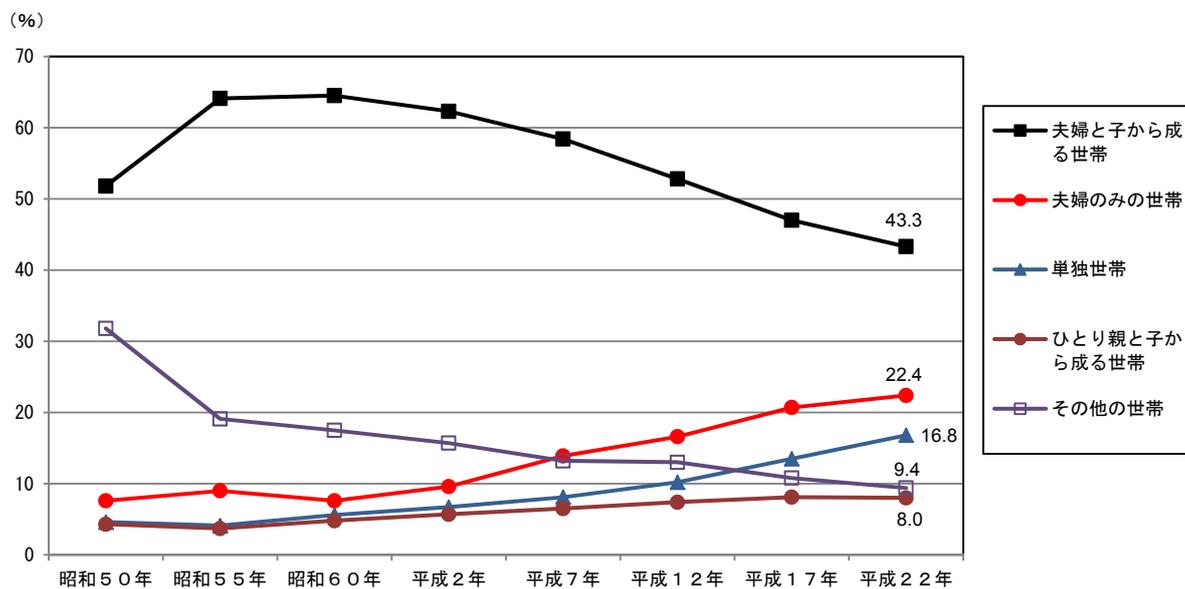
図表2-7 家族類型別世帯数の推移



(資料) 国勢調査

家族類型別の比率をみると、夫婦と子から成る世帯が昭和55年以後減少し続ける一方で、夫婦のみの世帯と単独世帯が増加傾向にあります。

図表2-8 家族類型別世帯構成比の推移



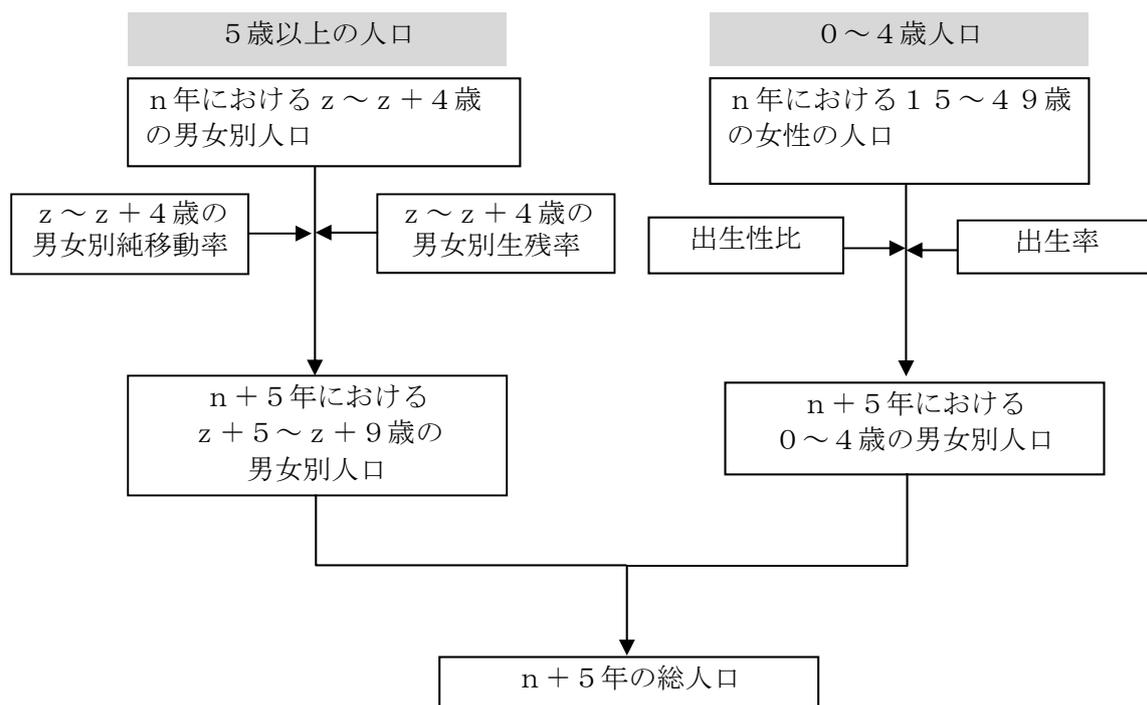
(資料) 国勢調査

3 人口推計の方法

(1) 推計手法

本推計では、「コーホート要因法」を用いて推計します。この方法は、年齢階層別人口の変動を、自然増減（出生・死亡）と社会増減（転入・転出）といった人口変動の要因それぞれについて将来値を仮定し、将来の人口を推計する方法です。国立社会保障・人口問題研究所（以下「社人研」という。）における都道府県別人口推計や全国の多くの市町村において採用されており、本市の過去の人口推計もこの方法を採用しています。

図表 3-1 コーホート要因法に基づく人口推計の考え方



(2) 推計期間

推計期間は、平成27年から白井市第5次総合計画基本構想の目標年次である平成37年までとし、期間中の5年間隔の推計人口を算出します。ただし、長期の行政フレームを想定する必要があるため、参考として平成47年まで推計を行います。

(3) 基準人口

推計の基準となる人口は、平成22年国勢調査人口とします。ただし、国勢調査人口は年齢不詳を含むため、年齢不詳分を男女別年齢5歳階層別人口に按分補正を行います。

人口推計の基準人口は、国勢調査人口又は住民基本台帳人口（外国人住民を含む）のいずれかとすることが一般的ですが、社人研における都道府県別人口推計や本市の過去の人口推計も国勢調査人口を使用していること、本推計に当たって社人研による仮定値を採用すること、国勢調査人口には実際の居住者が把握できるというメリットがあることなどから、基準人口を国勢調査人口とします。

(4) 推計の前提

本推計における人口変動要因の設定は次のとおりとします。

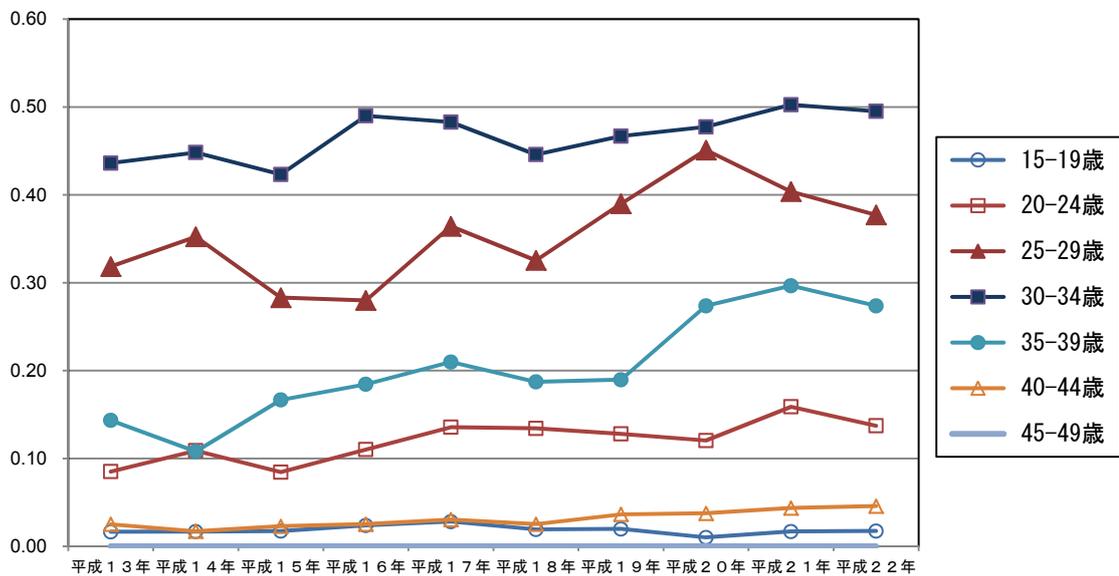
人口変動要因	設定項目	設定内容
出生	① 女性年齢5歳階層別出生率	社人研の「日本の将来推計人口(平成24年1月推計)」における「女性の年齢各歳別出生率(中位仮定)」を基準として、本市の出生実績(平成13年～22年)との乖離率を補正して設定
	② 出生性比	本市の実績(平成13年～22年)に基づく出生性比で設定
死亡	③ 男女年齢5歳階層別生残率	社人研の「日本の将来推計人口(平成24年1月推計)」の「男女年齢別将来生命表(中位仮定)」に基づく生残率を基準として、本市の死亡実績(平成13年～22年)との乖離率を補正して設定
移動	④ 男女年齢5歳階層別純移動率	平成17年～22年の国勢調査人口の趨勢に基づく純移動率に、平成26年度以後の開発(想定)の影響を加味して設定

① 女性年齢5歳階層別出生率

出生率は、出産可能年齢(15歳～49歳)の女性に限定して、女性年齢5歳階層別の人口に対する女性年齢5歳階層別の出生数の割合を示したものです。

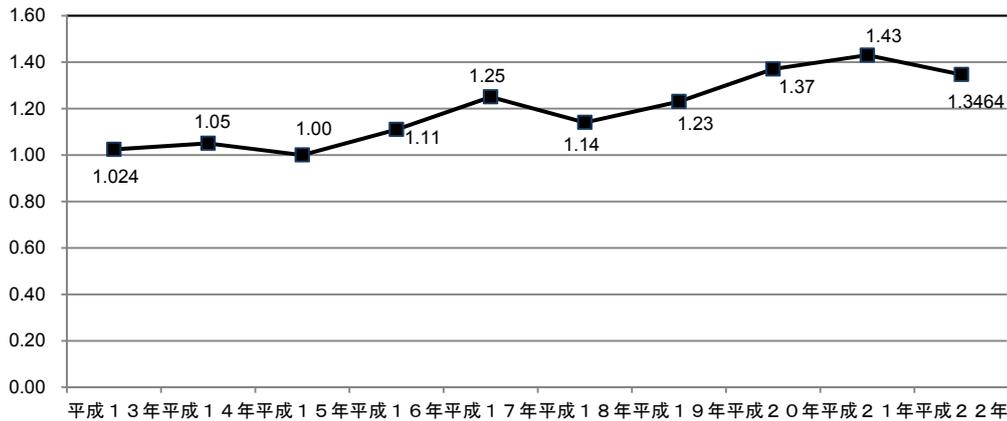
比較的小さな人口規模では、出生数の多少のばらつきが出生率に及ぼす影響が強く、実際に、本市の平成13年から平成22年まで10年間の女性年齢5歳階層別の出生率の推移をみると、年による変動が大きくなっています。

図表3-2 女性年齢5歳階層別出生率の推移



(資料) 千葉県衛生統計年報、千葉県常住人口調査

図表 3-3 合計特殊出生率の推移



※合計特殊出生率

(資料) 千葉県衛生統計年報

出産可能年齢（15歳～49歳）の女性が一生に産む子どもの数の平均数を示すもので、出産可能年齢の女性の年齢別出生率の合計値です。

人口を維持していくためには、合計特出生率が2.08程度必要とされています。

そこで、本推計では、社人研の「日本の将来推計人口（平成24年1月推計）」の「女性の年齢各歳別出生率（中位仮定）」を活用し、当該中位仮定から求められる出生数と本市の平成13年から平成22年まで10年間の出生実績との乖離率に応じて補正して、女性年齢5歳階層別出生率の仮定値を設定します。

図表 3-4 女性年齢5歳階層別出生率の仮定値

	平成22年→27年	平成27年→32年	平成32年→37年	平成37年→42年	平成42年→47年
15-19歳	0.02360	0.02414	0.02404	0.02404	0.02424
20-24歳	0.17411	0.17203	0.17287	0.17277	0.17282
25-29歳	0.42492	0.41196	0.40833	0.41072	0.41121
30-34歳	0.47048	0.45334	0.43704	0.43431	0.43724
35-39歳	0.23998	0.24584	0.23963	0.23685	0.23720
40-44歳	0.04039	0.04262	0.04317	0.04511	0.04669
45-49歳	0.00114	0.00134	0.00139	0.00139	0.00144
合計	1.37462	1.35127	1.32648	1.32519	1.33085

②出生性比

出生性比は、出生する子どもの男女比率を示したものです。

出生性比は、一般的に時系列的に大きな変化はないものと考えられていますので、本市の平成13年から平成22年まで10年間の実績の平均値を出生性比の仮定値として設定します。

図表 3-5 出生性比の仮定値

	平成13年	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	合計	出生性比
男	176	181	177	227	206	203	255	283	317	282	2,307	0.50714
女	183	183	172	197	248	226	221	270	287	255	2,242	0.49286

③男女年齢5歳階層別生残率

生残率は、ある年齢の人口が、5年後の年齢に達するまで生き残る確率のことです。

比較的小さな人口規模では、過去の実績をもとに生残率を仮定することは、過去の1時期に特殊な変動がみられた場合、不確実な将来予測となりかねないため、適当ではない面があります。

そこで、本推計では、社人研の「日本の将来推計人口（平成24年1月推計）」の「男女年齢別将来生命表（中位仮定）」に基づく生残率を活用し、当該中位仮定から求められる死亡数と本市の平成13年から平成22年まで10年間の死亡実績との乖離率に応じて補正して、男女年齢5歳階層別生残率の仮定値を設定します。

図表3-6 男女年齢5歳階層別生残率の仮定値

	平成22年→27年		平成27年→32年		平成32年→37年		平成37年→42年		平成42年→47年	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
対出生	99.755	99.789	99.802	99.828	99.823	99.845	99.840	99.860	99.855	99.872
0-4歳	99.919	99.931	99.927	99.937	99.935	99.943	99.942	99.949	99.947	99.953
5-9歳	99.956	99.968	99.961	99.970	99.965	99.973	99.968	99.975	99.971	99.977
10-14歳	99.909	99.947	99.918	99.951	99.925	99.955	99.930	99.957	99.935	99.959
15-19歳	99.776	99.893	99.787	99.894	99.800	99.899	99.811	99.903	99.821	99.907
20-24歳	99.700	99.865	99.714	99.864	99.726	99.870	99.736	99.876	99.745	99.880
25-29歳	99.661	99.831	99.678	99.840	99.689	99.848	99.700	99.854	99.710	99.860
30-34歳	99.579	99.769	99.597	99.784	99.615	99.794	99.630	99.804	99.643	99.812
35-39歳	99.383	99.662	99.406	99.680	99.434	99.695	99.459	99.709	99.480	99.721
40-44歳	99.049	99.492	99.087	99.519	99.131	99.543	99.170	99.564	99.204	99.582
45-49歳	98.495	99.227	98.558	99.267	98.626	99.302	98.685	99.334	98.738	99.361
50-54歳	97.610	98.879	97.722	98.932	97.828	98.982	97.920	99.025	98.001	99.064
55-59歳	96.244	98.389	96.443	98.471	96.601	98.541	96.741	98.602	96.864	98.657
60-64歳	94.367	97.662	94.660	97.794	94.887	97.896	95.087	97.986	95.265	98.066
65-69歳	92.673	96.745	93.043	96.903	93.356	97.063	93.627	97.201	93.865	97.322
70-74歳	88.117	94.339	88.755	94.688	89.340	94.994	89.845	95.256	90.283	95.483
75-79歳	80.105	89.681	81.331	90.417	82.287	91.006	83.127	91.512	83.868	91.949
80歳～	57.449	64.784	58.684	65.811	59.699	66.717	60.607	67.520	61.425	68.234

④男女年齢5歳階層別純移動率

純移動率は、ある地域人口に対する他地域間との転入超過数の割合を示したものです。

本推計では、平成17年から平成22年までの趨勢に基づく純移動率に、平成26年4月以後の開発による影響を加味して、男女年齢5歳階層別純移動率の仮定値を設定します。

ア 平成17年から平成22年までの趨勢に基づく純移動率

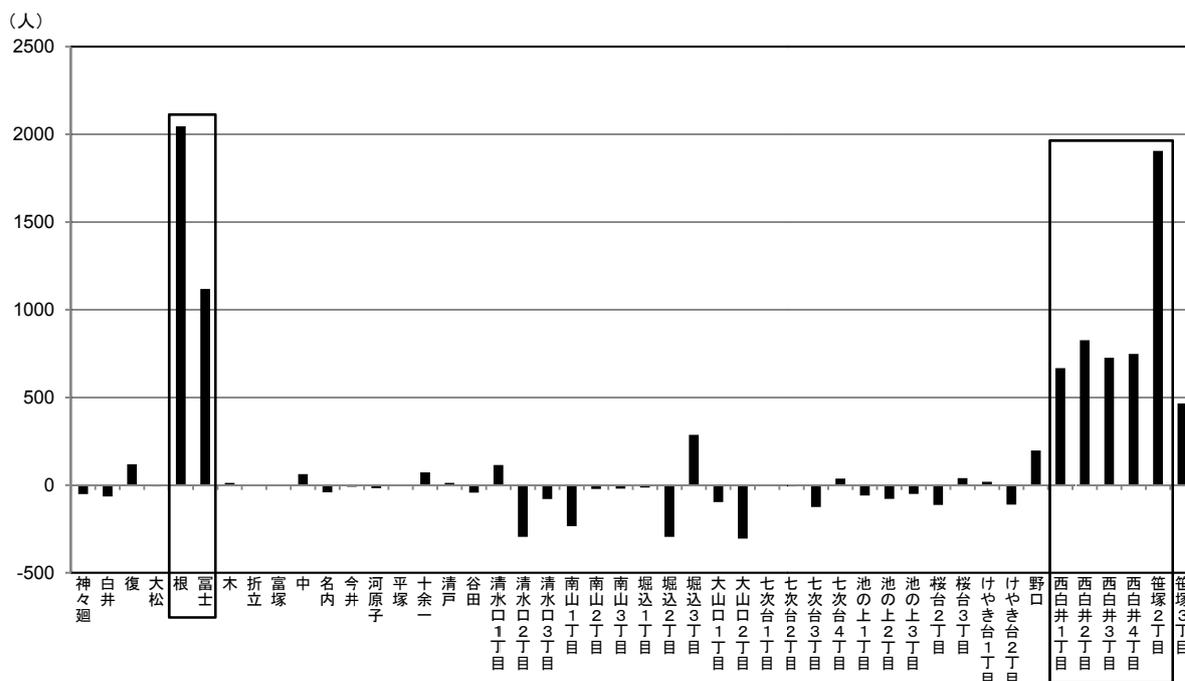
平成17年から平成22年までの趨勢をみると、西白井地区での土地区画整理事業、笹塚地区におけるニュータウン事業と根地区や富士地区の市街化調整区域におけるスプロール的な開発による短期的な特殊要因の影響が大きくなっています。

本市では、平成26年3月末に千葉ニュータウン事業が終了したこと、また、平成26年4月から都市計画法に基づく開発許可等を行う事務処理市に移行して市街化調整区域の開発を抑制したことを踏まえると、今後は人口が急増するような開発は行われないと考えられます。

そこで、平成17年から平成22年までの短期的な特殊要因が将来にわたって影響することを避けるため、当該特殊要因の影響を除外した純移動率を算出する必要があります。

具体的には、平成17年から平成22年の間に人口が500人以上の増加した人口急増地域（根、富士、西白井1丁目、西白井2丁目、西白井3丁目、西白井4丁目、笹塚2丁目）における人口増加数を平成22年国勢調査人口から除いて、純移動率を算出します。

図表3-7 平成17年→平成22年町丁目別人口増加数



(資料) 国勢調査

ただし、上記の人口増加数には、市内での転居数と他市区町村からの転入数が含まれていますので、平成17年から平成22年の間に他市区町村から転入した者の割合が76.7%であることを踏まえ、人口増加数のうち他市区町村からの転入による純人口増加数を平成22年国勢調査人口から除くものとします。

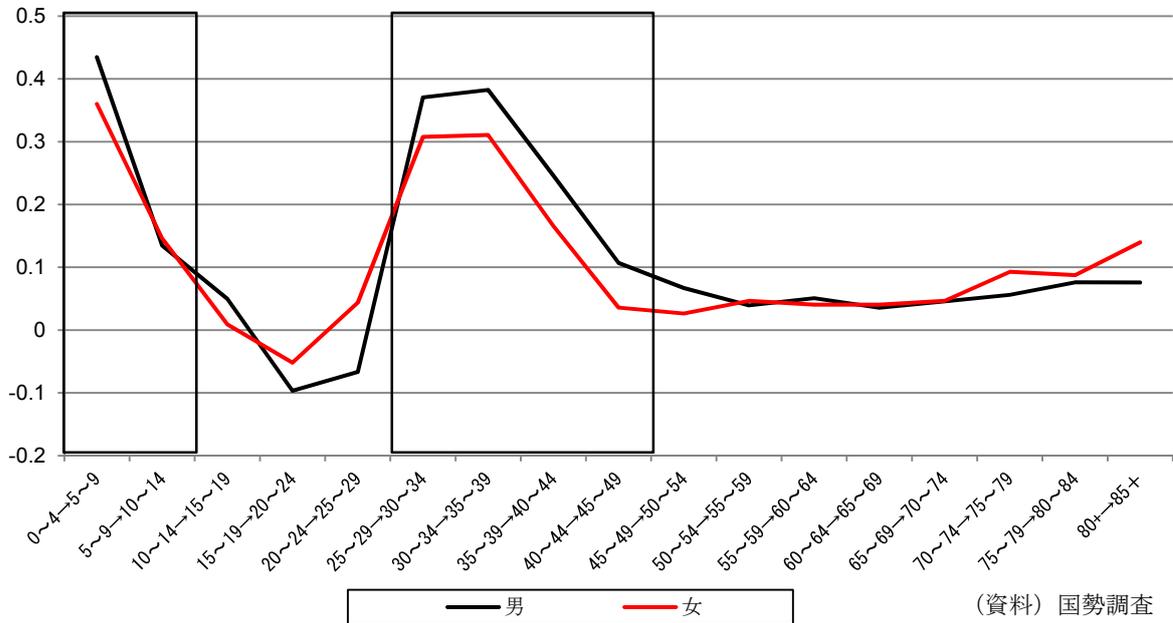
図表3-8 平成17年→平成22年人口移動状況

要因	実数 (人)	構成比 (%)
市内で転居	3,733	23.3
他市区町村から転入	12,278	76.7

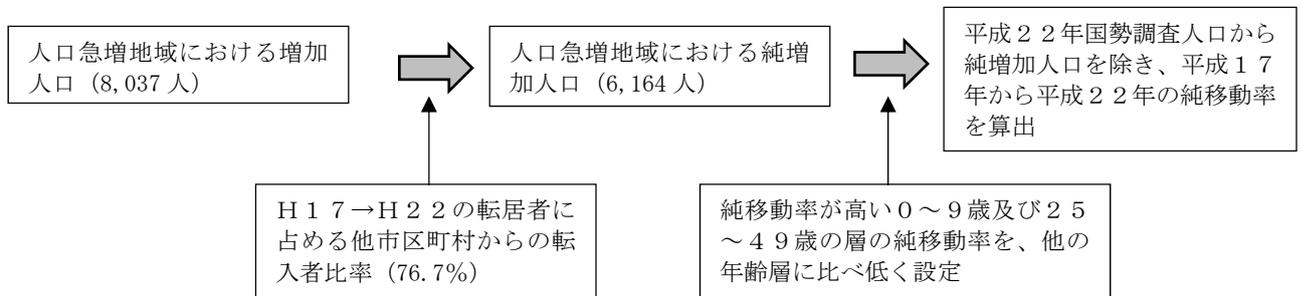
(資料) 国勢調査

また、移動率の算出に当たり、人口急増地域における人口増加分の年齢構成が不明のため、平成17年から平成22年までの純移動率が高い0～9歳及び25～44歳の年齢層の純移動率を他の年齢層に比べ低く設定することとします。

図表3-9 平成17年→平成22年男女年齢5歳階層別純移動率



図表3-10 平成17年→平成22年純移動率算出方法



イ 平成26年4月以後の開発による影響

平成26年4月以後の開発による影響については、事務処理市への移行前の申請に基づく開発による人口増加のみを見込むこととし、当該開発による増加人口を次のとおり算出します。

- ・平成26年3月末までに申請があった戸建1,172戸、長屋212戸について、平成27年から平成31年までの5年間で住宅が整備され、5年間で均等に入居が完了するものと想定します。
- ・これらの住宅への入居者は、25歳～44歳の若年ファミリー世帯で、0歳～14歳の子どもがいる核家族と想定します。
- ・入居者は、男女同数であると想定します。
- ・入居世帯1世帯当たりの世帯人員は、近年、根地区及び富士地区の市街化調整区域において開発された住宅への入居世帯と同程度と想定し、3.1108人とします。

図表 3-11 根地区及び富士地区の市街化調整区域における世帯人員

地区	入居者数	世帯数	世帯人員
根	2,263	696	3,2514
富士	1,190	414	2,8744
合計	3,453	1,110	3,1108

(資料) 住民基本台帳

※入居者数及び世帯数は、根地区・富士地区の調整区域において、平成17年度から平成24年度に開発行為の事前協議があった住宅に平成26年3月末時点で入居した者及び世帯の数です。

図表 3-12 今後の開発による増加人口の算出方法

$$\begin{array}{|c|} \hline \text{開発による} \\ \text{増加人口} \\ \hline 3,302 \text{ 人} \\ \hline \end{array}
 =
 \begin{array}{|c|} \hline \text{H25年度末まで} \\ \text{の開発申請戸数} \\ \hline 1,384 \text{ 戸} \\ \hline \end{array}
 \times
 \begin{array}{|c|} \hline \text{住所移動者に占め} \\ \text{る市外転入者比率} \\ \hline 76.7\% \\ \hline \end{array}
 \times
 \begin{array}{|c|} \hline \text{若年ファミリー世} \\ \text{帯の平均世帯人員} \\ \hline 3.1108 \text{ 人} \\ \hline \end{array}$$

ウ 純移動率の仮定値の設定

アの趨勢に基づく純移動率に、イの平成26年度以後の開発による影響を加味して、純移動率の仮定値を設定します。ただし、平成22年→27年の純移動率については、ア及びイに加えて、平成26年3月末までの移動実績も加味しています。

図表 3-13 男女年齢5歳階層別純移動率の仮定値

	平成22年→27年		平成27年→32年		平成32年→37年		平成37年→42年		平成42年→47年	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
対出生	0.0829	0.0829	0.3012	0.3070	0.0151	0.0125	0.0151	0.0125	0.0151	0.0125
0-4歳	0.0606	0.0558	0.0952	0.0903	0.0217	0.0171	0.0217	0.0171	0.0217	0.0171
5-9歳	0.0068	0.0145	0.0386	0.0467	0.0094	0.0077	0.0094	0.0077	0.0094	0.0077
10-14歳	0.0011	-0.0395	0.0011	-0.0395	0.0011	-0.0395	0.0011	-0.0395	0.0011	-0.0395
15-19歳	-0.0954	-0.0504	-0.0954	-0.0504	-0.0954	-0.0504	-0.0954	-0.0504	-0.0954	-0.0504
20-24歳	-0.0070	0.0591	-0.0041	0.0612	-0.0853	-0.0196	-0.0853	-0.0196	-0.0853	-0.0196
25-29歳	0.1246	0.1103	0.1261	0.1104	0.0076	-0.0004	0.0076	-0.0004	0.0076	-0.0004
30-34歳	0.1072	0.0847	0.1099	0.0865	0.0248	0.0026	0.0248	0.0026	0.0248	0.0026
35-39歳	0.0932	0.0627	0.0959	0.0659	0.0336	0.0028	0.0336	0.0028	0.0336	0.0028
40-44歳	0.0638	0.0026	0.0638	0.0026	0.0638	0.0026	0.0638	0.0026	0.0638	0.0026
45-49歳	0.0242	-0.0117	0.0242	-0.0117	0.0242	-0.0117	0.0242	-0.0117	0.0242	-0.0117
50-54歳	0.0069	0.0182	0.0069	0.0182	0.0069	0.0182	0.0069	0.0182	0.0069	0.0182
55-59歳	0.0194	0.0123	0.0194	0.0123	0.0194	0.0123	0.0194	0.0123	0.0194	0.0123
60-64歳	0.0055	0.0113	0.0055	0.0113	0.0055	0.0113	0.0055	0.0113	0.0055	0.0113
65-69歳	-0.0002	0.0104	-0.0002	0.0104	-0.0002	0.0104	-0.0002	0.0104	-0.0002	0.0104
70-74歳	-0.0025	0.0354	-0.0025	0.0354	-0.0025	0.0354	-0.0025	0.0354	-0.0025	0.0354
75-79歳	0.0003	0.0254	0.0003	0.0254	0.0003	0.0254	0.0003	0.0254	0.0003	0.0254
80歳～	-0.0193	0.0565	-0.0193	0.0565	-0.0193	0.0565	-0.0193	0.0565	-0.0193	0.0565

4 人口推計結果

(1) 推計人口

平成37年の総人口は、65,200人と推計されます。

開発による人口流入に伴い増加するものの、平成32年にピークを迎え、その後減少していく見込みです。

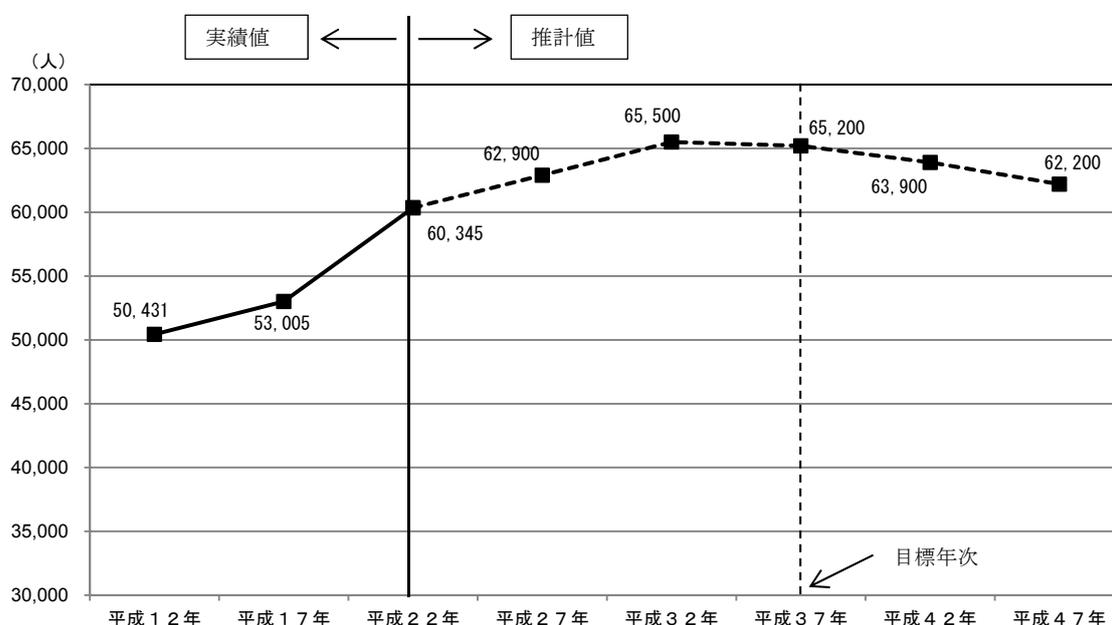
図表4-1 推計人口

(単位:人)

	実績			推計				
	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	平成32年	平成37年	平成42年	平成47年
総人口	50,431	53,005	60,345	62,900	65,500	65,200	63,900	62,200

※基準日は、各年10月1日です。

図表4-2 推計人口



(2) 年齢3区分別推計人口

平成37年の年齢3区分別人口については、年少人口は8,700人、生産年齢人口は38,500人、高齢者人口は18,000人と推計されます。

年少人口は、平成32年にピークを迎え、その後減少に転じる見込みで、平成37年には平成22年と比較して約900人減少し、年少人口比率は13.3%に低下する見込みです。

生産年齢人口は、平成22年をピークに減少に転じ、平成37年には平成22年と比較して約1,400人減少し、生産年齢人口比率は59.0%に低下する見込みです。

高齢者人口は、一貫して増加し続け、平成37年には平成22年と比較して約7,200人増加し、高齢者人口比率は27.7%に達する見込みです。

図表4-3 年齢3区分別推計人口と年齢3区分別推計人口比率

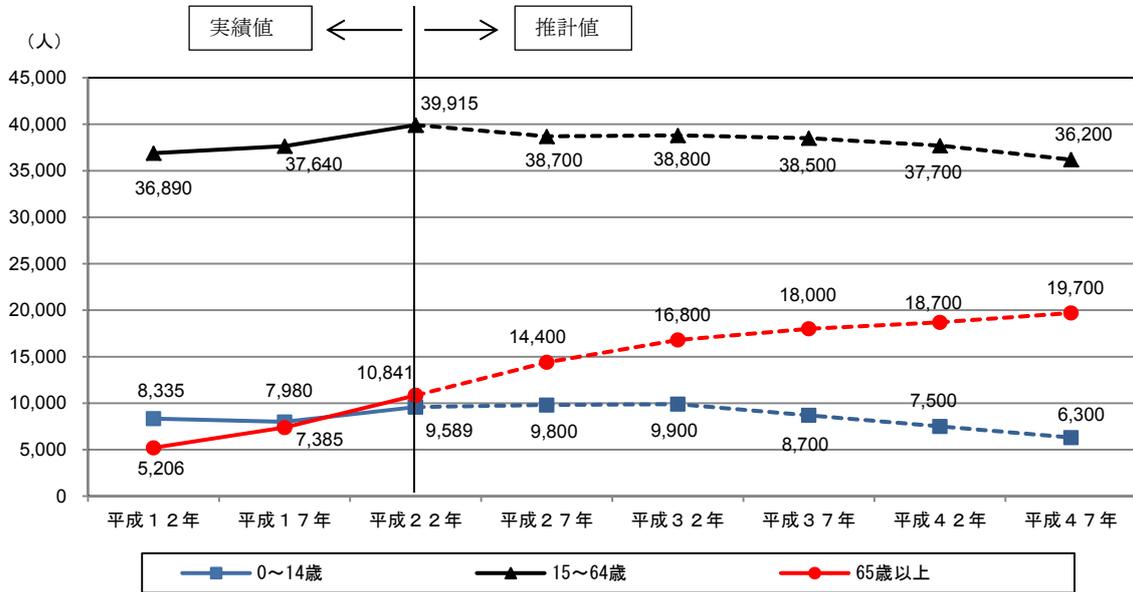
(単位：人、%)

		実績			推計				
		平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	平成32年	平成37年	平成42年	平成47年
人口	0～14歳	8,335	7,980	9,589	9,800	9,900	8,700	7,500	6,300
	15～64歳	36,890	37,640	39,915	38,700	38,800	38,500	37,700	36,200
	65歳以上	5,206	7,385	10,841	14,400	16,800	18,000	18,700	19,700
比率	0～14歳	16.5	15.1	15.9	15.6	15.1	13.3	11.7	10.1
	15～64歳	73.2	71.0	66.1	61.5	59.3	59.0	59.0	58.2
	65歳以上	10.3	13.9	18.0	22.9	25.6	27.7	29.3	31.7

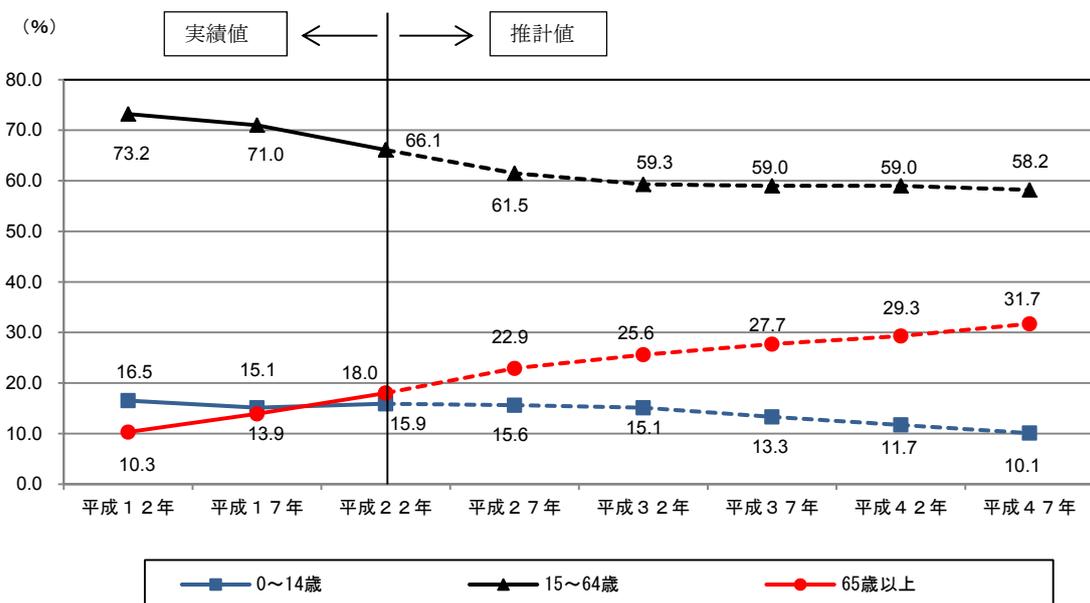
※基準日は、各年10月1日です。

※実績については、年齢不詳分を各年齢階層に按分しています。

図表4-4 年齢3区分別推計人口



図表4-5 年齢3区分別推計人口比率



(3) 高齢者人口

平成37年の高齢者人口18,000人のうち、75歳以上の人口は、高齢者人口の約58%の10,500人と推計されます。

75歳以上の人口は、一貫して増加し続け、平成37年には平成22年と比較して約6,600人増加し、75歳以上人口比率は16.1%に達すると見込まれます。

図表4-6 推計高齢者人口と推計高齢者人口比率

(単位：人、%)

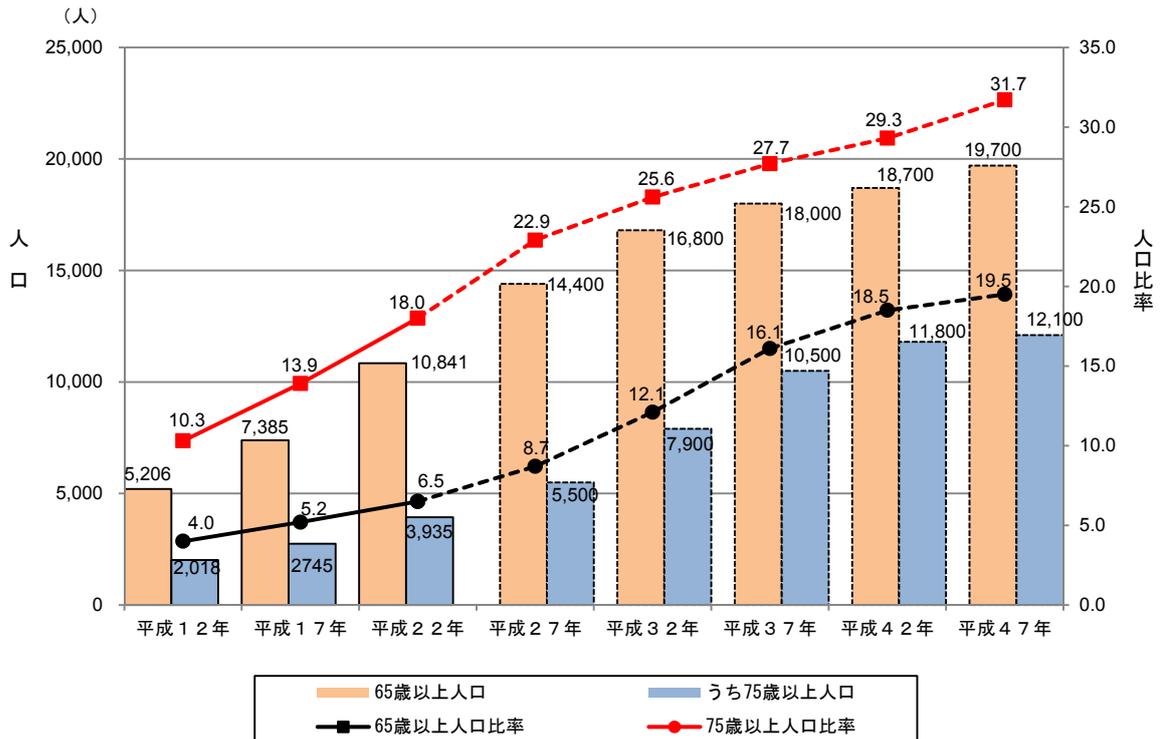
		実績			推計				
		平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	平成32年	平成37年	平成42年	平成47年
人口	65歳以上	5,206	7,385	10,841	14,400	16,800	18,000	18,700	19,700
	うち75歳以上	2,018	2,745	3,935	5,500	7,900	10,500	11,800	12,100
比率	65歳以上	10.3	13.9	18.0	22.9	25.6	27.7	29.3	31.7
	うち75歳以上	4.0	5.2	6.5	8.7	12.1	16.1	18.5	19.5

※基準日は、各年10月1日です。

※実績については、年齢不詳分を各年齢階層に按分している。

図表4-7 推計高齢者人口と推計高齢者人口比率

(%)



(4) 男女別年齢5歳階層別推計人口

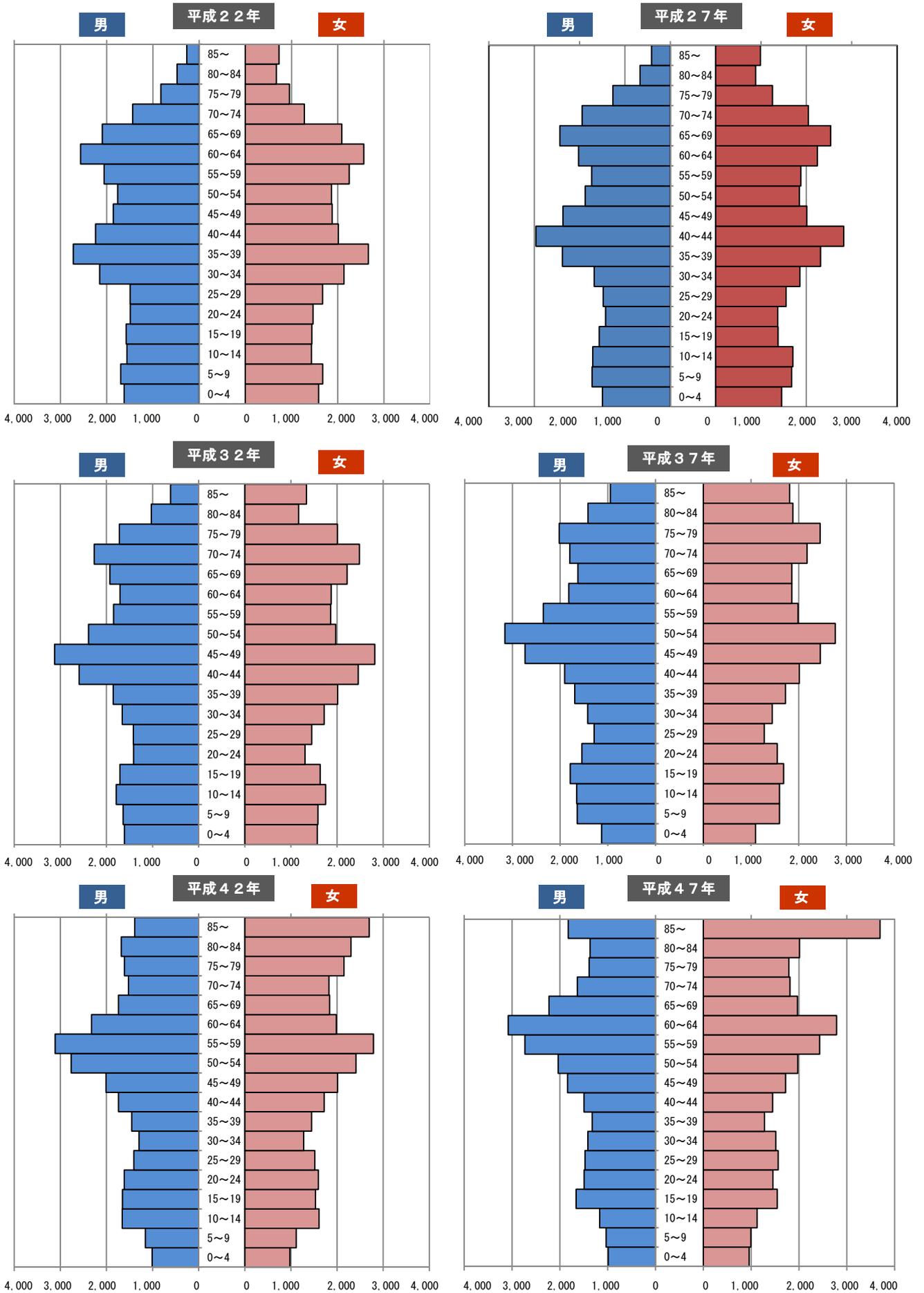
(単位：人)

	平成22年			平成27年			平成32年		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
0～4歳	1,625	1,587	3,213	1,496	1,455	2,951	1,609	1,571	3,180
5～9歳	1,698	1,679	3,377	1,723	1,675	3,398	1,638	1,585	3,223
10～14歳	1,565	1,434	2,999	1,709	1,702	3,411	1,788	1,753	3,541
15～19歳	1,580	1,442	3,023	1,566	1,377	2,943	1,710	1,634	3,344
20～24歳	1,492	1,468	2,960	1,426	1,368	2,794	1,413	1,306	2,719
25～29歳	1,495	1,676	3,171	1,477	1,553	3,030	1,416	1,450	2,866
30～34歳	2,156	2,138	4,294	1,676	1,857	3,533	1,659	1,722	3,381
35～39歳	2,726	2,666	5,392	2,378	2,314	4,692	1,854	2,014	3,868
40～44歳	2,244	2,014	4,258	2,963	2,824	5,787	2,592	2,459	5,051
45～49歳	1,859	1,883	3,742	2,366	2,009	4,375	3,125	2,818	5,943
50～54歳	1,764	1,867	3,630	1,876	1,846	3,722	2,389	1,971	4,360
55～59歳	2,059	2,250	4,309	1,734	1,880	3,614	1,846	1,860	3,706
60～64歳	2,567	2,568	5,135	2,022	2,242	4,264	1,706	1,874	3,580
65～69歳	2,098	2,090	4,188	2,436	2,537	4,973	1,925	2,218	4,143
70～74歳	1,438	1,280	2,718	1,944	2,044	3,988	2,266	2,485	4,751
75～79歳	830	957	1,788	1,264	1,253	2,517	1,721	2,008	3,729
80～84歳	477	672	1,149	665	883	1,548	1,028	1,165	2,193
85歳～	268	730	998	414	988	1,402	612	1,337	1,949
合計	29,943	30,402	60,345	31,135	31,807	62,942	32,297	33,230	65,527
推計人口	—	—	—	31,100	31,800	62,900	32,300	33,200	65,500

	平成37年			平成42年			平成47年		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
0～4歳	1,132	1,097	2,229	1,010	979	1,989	988	958	1,946
5～9歳	1,643	1,597	3,240	1,156	1,115	2,271	1,031	995	2,026
10～14歳	1,653	1,597	3,250	1,658	1,609	3,267	1,166	1,124	2,290
15～19歳	1,789	1,683	3,472	1,653	1,533	3,186	1,659	1,545	3,204
20～24歳	1,543	1,550	3,093	1,615	1,596	3,211	1,493	1,454	2,947
25～29歳	1,288	1,279	2,567	1,408	1,518	2,926	1,473	1,563	3,036
30～34歳	1,422	1,447	2,869	1,294	1,276	2,570	1,414	1,515	2,929
35～39歳	1,694	1,723	3,417	1,452	1,448	2,900	1,322	1,277	2,599
40～44歳	1,906	2,013	3,919	1,741	1,722	3,463	1,494	1,448	2,942
45～49歳	2,735	2,454	5,189	2,011	2,010	4,021	1,839	1,720	3,559
50～54歳	3,158	2,765	5,923	2,765	2,410	5,175	2,035	1,974	4,009
55～59歳	2,354	1,987	4,341	3,114	2,789	5,903	2,729	2,431	5,160
60～64歳	1,819	1,856	3,675	2,323	1,984	4,307	3,077	2,786	5,863
65～69歳	1,628	1,856	3,484	1,740	1,840	3,580	2,226	1,968	4,194
70～74歳	1,797	2,176	3,973	1,524	1,824	3,348	1,633	1,810	3,443
75～79歳	2,019	2,448	4,467	1,610	2,150	3,760	1,387	1,788	3,175
80～84歳	1,416	1,878	3,294	1,679	2,303	3,982	1,366	2,010	3,376
85歳～	948	1,810	2,758	1,387	2,699	4,086	1,824	3,695	5,519
合計	31,944	33,216	65,160	31,140	32,805	63,945	30,156	32,061	62,217
推計人口	32,000	33,200	65,200	31,100	32,800	63,900	30,200	32,000	62,200

(5) 人口ピラミッド

(単位：縦軸 歳、横軸 人)



5 世帯数の推計

(1) 推計手法

本推計では、世帯主率法により、家族類型別の世帯数の推計を行います。この方法は、世帯数が世帯主数に等しいことを利用し、推計人口に世帯主率（人口に占める世帯主数の割合）を乗じることによって、世帯数を算出する方法です。

具体的には、一般世帯を世帯の家族類型の違いによって、「単独世帯」、「夫婦のみの世帯」「夫婦と子から成る世帯」、「ひとり親と子から成る世帯」と「その他の世帯」の5つに分類し、それぞれ男女別年齢5歳階層別世帯主率を算出します。そして、男女別年齢5歳階層別推計人口に当該世帯主率を乗じて、家族類型別の世帯数を算出します。

※国勢調査では、世帯を一般世帯、施設等の世帯、不詳に区分していますが、一般世帯以外の世帯は非常に少ないため、世帯主率法による推計では、通常除外しており、本推計でも同様に除外します。

家族類型については、次のとおりである。

本推計での家族類型(5区分)	国勢調査での家族類型(16区分)
単独世帯	世帯人員が1人の世帯
夫婦のみの世帯	夫婦のみの世帯
夫婦と子から成る世帯	夫婦と子どもから成る世帯
ひとり親と子から成る世帯	男親と子どもから成る世帯、女親と子どもから成る世帯
その他の世帯	その他の親族世帯、非親族世帯

(2) 推計期間

推計期間は、平成27年から白井市第5次総合計画基本構想の目標年次である平成37年までとし、期間中の5年間隔の推計世帯数を算出します。ただし、参考として平成47年まで推計を行います。

(3) 推計の前提

将来的に世帯構成の変化が一定程度予想されるため、社人研の「日本の世帯数の将来推計（都道府県別推計）（平成26年4月）」の千葉県在世帯主率を活用し、当該世帯主率から求められる家族類型別世帯数と平成22年国勢調査における本市の家族類型別世帯数との乖離率に応じて補正して、男女別年齢5歳階層別世帯主率の仮定値を設定します。

(4) 推計結果

①推計世帯数

平成37年の世帯数は24,217世帯、平均世帯人員は2.69人と推計されます。

人口増加に伴い世帯数も増加しますが、人口のピークが平成32年であるのに対し、世帯数は平成37年にピークを迎え、その後減少していく見込みです。

また、平均世帯人員については、一貫して減少し続ける見込みです。

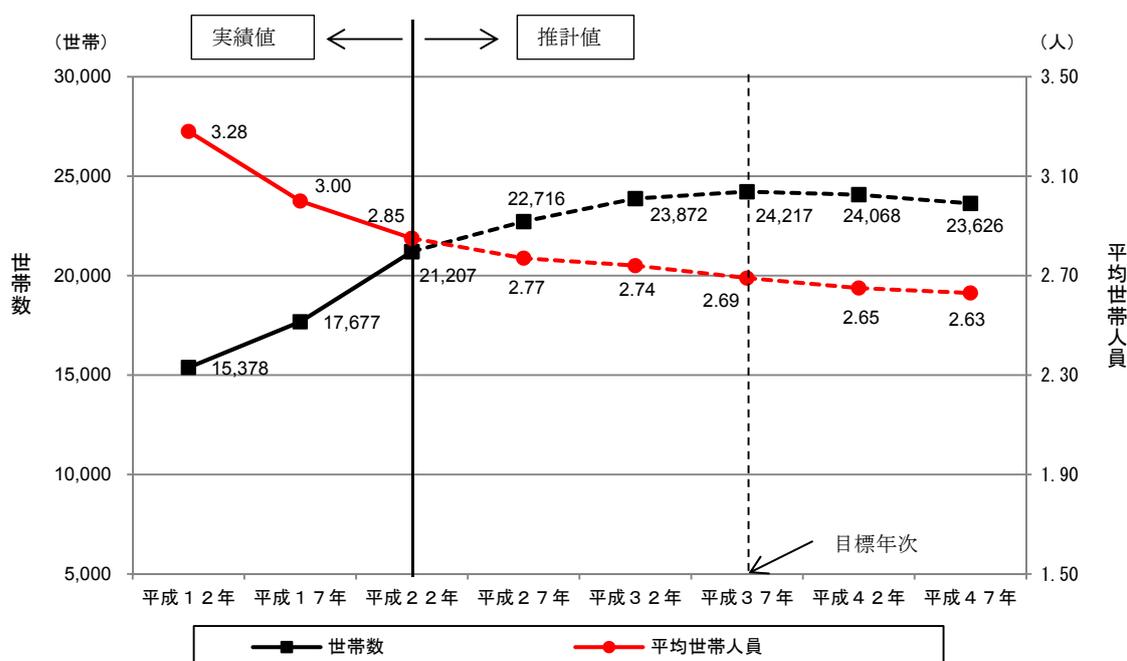
図表5-1 推計世帯数と平均世帯人員

(単位：世帯、人)

	実績			推計				
	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	平成32年	平成37年	平成42年	平成47年
総世帯数	15,378	17,677	21,207	22,716	23,872	24,217	24,068	23,626
平均世帯人員	3.28	3.00	2.85	2.77	2.74	2.69	2.65	2.63

※基準日は、各年10月1日です。

図表5-2 推計世帯数と平均世帯人員



②家族類型別推計世帯数

家族類型別推計世帯数については、夫婦と子から成る世帯が人口増加に伴って増加しますが、平成32年にピークを迎え、その後減少に転じる見込みです。単独世帯、夫婦のみの世帯とひとり親と子から成る世帯は、一貫して増加する見込みです。

家族類型別の比率では、夫婦と子から成る世帯が減少し続け、単独世帯と夫婦のみの世帯が増加する見込みです。特に、単独世帯の比率が大きく増加し、平成22年と平成37年を比較すると、約4.5ポイントの増加となっています。

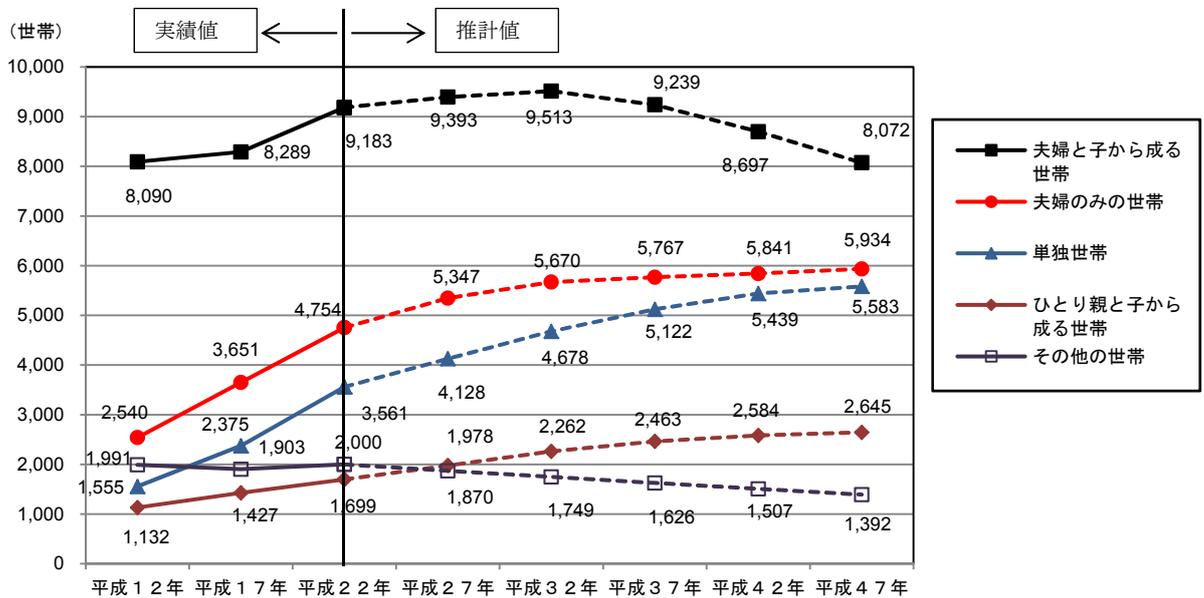
図表 5-3 家族類型別推計世帯数と家族類型別推計世帯比率

(単位：世帯、%)

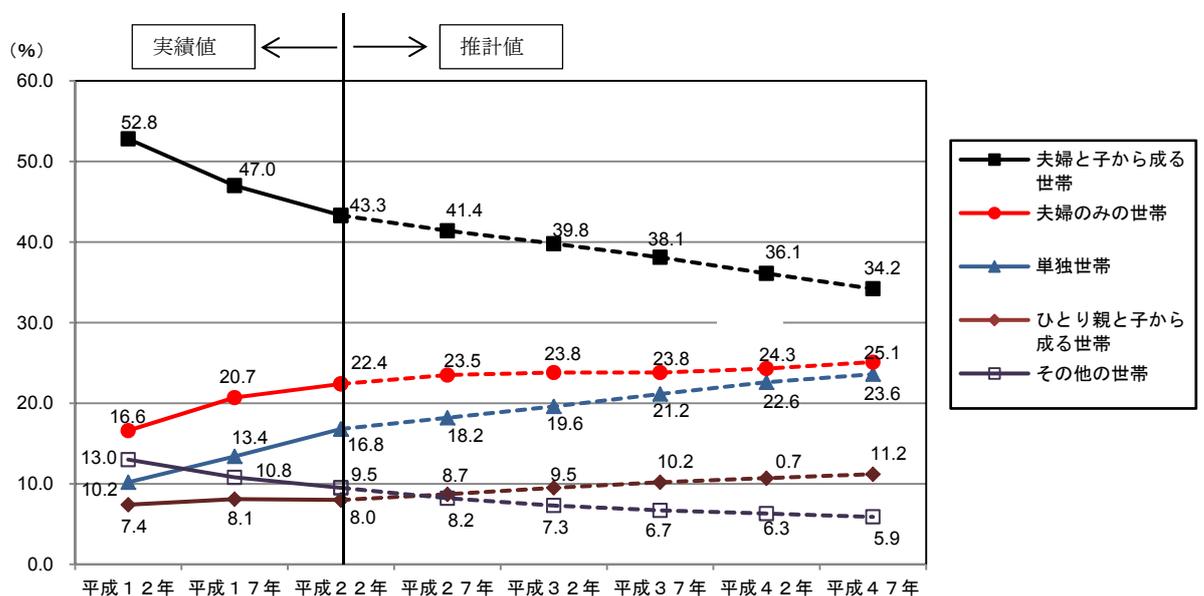
		実績			推計				
		平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	平成32年	平成37年	平成42年	平成47年
世帯数	単独世帯	1,555	2,375	3,561	4,128	4,678	5,122	5,439	5,583
	夫婦のみの世帯	2,540	3,651	4,754	5,347	5,670	5,767	5,841	5,934
	夫婦と子から成る世帯	8,090	8,289	9,183	9,393	9,513	9,239	8,697	8,072
	ひとり親と子から成る世帯	1,132	1,427	1,699	1,978	2,262	2,463	2,584	2,645
	その他の世帯	1,991	1,903	2,000	1,870	1,749	1,626	1,507	1,392
比率	単独世帯	10.2	13.4	16.8	18.2	19.6	21.2	22.6	23.6
	夫婦のみの世帯	16.6	20.7	22.4	23.5	23.8	23.8	24.3	25.1
	夫婦と子から成る世帯	52.8	47.0	43.3	41.4	39.8	38.1	36.1	34.2
	ひとり親と子から成る世帯	7.4	8.1	8.0	8.7	9.5	10.2	10.7	11.2
	その他の世帯	13.0	10.8	9.5	8.2	7.3	6.7	6.3	5.9

※基準日は、各年10月1日です。

図表 5-4 家族類型別推計世帯数



図表 5-5 家族類型別推計世帯比率

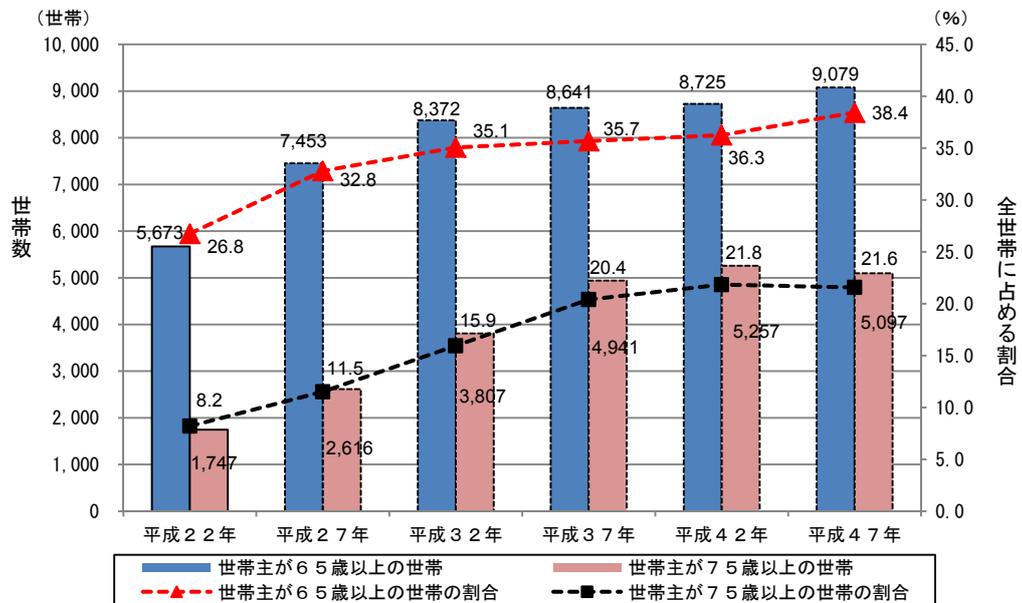


③高齢世帯

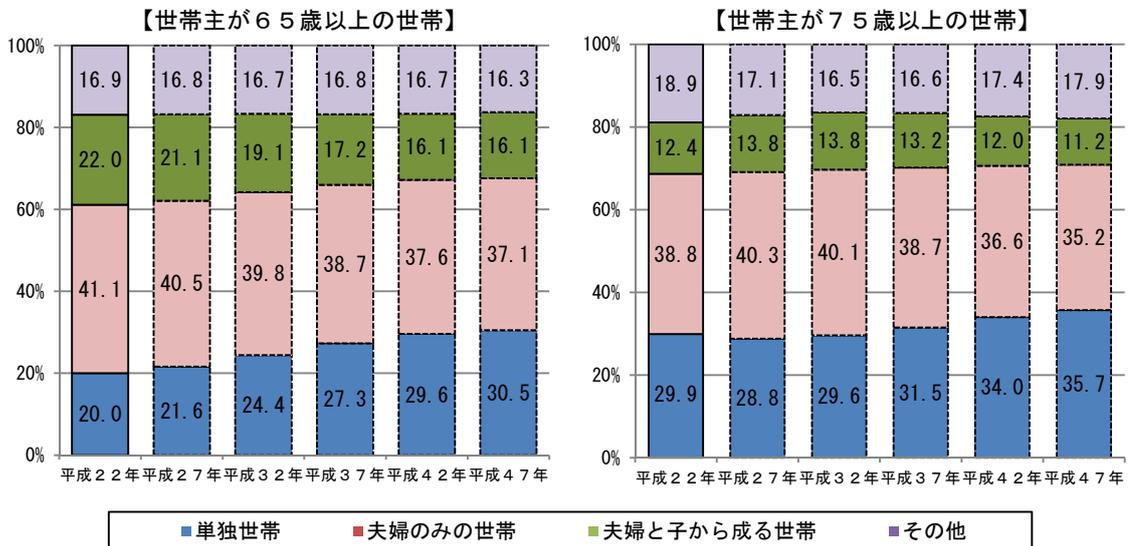
平成37年には、世帯主が65歳以上の世帯は全世帯の約36%に、世帯主が75歳以上の世帯は全世帯の約20%に達すると見込まれます。

家族類型別では、単独世帯が増加すると見込まれ、平成37年には、世帯主が65歳以上の世帯の約27%、世帯主が75歳以上の世帯の約32%が単独世帯と見込まれます。

図表5-6 推計高齢世帯数と推計高齢世帯比率



図表5-7 高齢世帯の家族類型別推計世帯比率



6 小学校区別人口の推計

(1) 推計方法

推計手法、推計期間は、国勢調査人口による全市の人口推計と同様とします。

基準人口については、平成22年国勢調査人口とします。ただし、国勢調査人口が小学校区別に公表されていないため、住民基本台帳人口（平成22年10月1日現在）の小学校区別の男女別・年齢5歳階層別人口の構成比を用いて、平成22年国勢調査人口を小学校区別に積算します。

推計の前提は、次のとおりとします。

人口変動要因	設定項目	設定内容
出生	① 女性年齢5歳階層別出生率	全市の人口推計と同様
	② 出生性比	全市の人口推計と同様
死亡	③ 男女年齢5歳階層別生残率	全市の人口推計と同様
移動	④ 男女年齢5歳階層別純移動率	(1) 小学校区別に人口の変動を捉えることができる住民基本台帳に基づき、平成21年～26年の純移動率を小学校区別に算出し、この間における開発等の短期的な特殊要因の影響を補正した純移動率を設定。 ※平成22年→27年の純移動率については、平成26年3月末までの移動実績を加味 (2) (1)の純移動率に各小学校区において見込まれる平成26年度以後の開発（想定）の影響を加味した純移動率を設定

なお、上記の方法により小学校区別の推計人口を推計した後、小学校区別の合算値と全市の人口推計結果との乖離を補正し、小学校区別の人口推計結果とします。

(2) 推計結果

白井第一小学校区、白井第二小学校区と南山小学校区の人口は、平成27年以後、一貫して減少していくものと見込まれます。

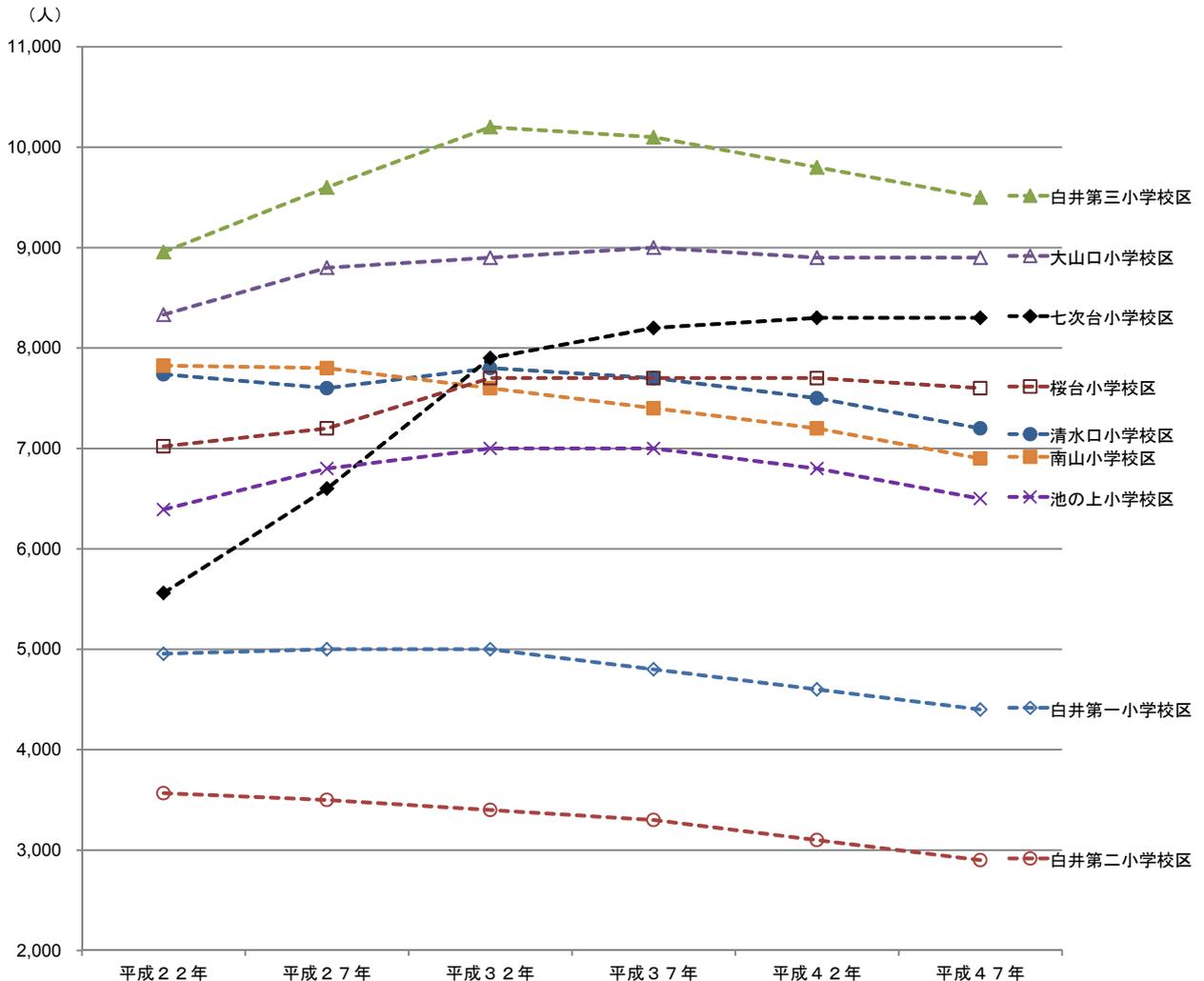
その他の小学校区の人口は、開発に伴う人口流入に伴って増加するものの、長期的には減少傾向に転じるものと見込まれます。

図表6-1 小学校区別推計人口

(単位：人)

	実績	推計				
	平成22年	平成27年	平成32年	平成37年	平成42年	平成47年
白井第一小学校区	4,955	5,000	5,000	4,800	4,600	4,400
白井第二小学校区	3,567	3,500	3,400	3,300	3,100	2,900
白井第三小学校区	8,956	9,600	10,200	10,100	9,800	9,500
大山口小学校区	8,332	8,800	8,900	9,000	8,900	8,900
清水口小学校区	7,738	7,600	7,800	7,700	7,500	7,200
七次台小学校区	5,560	6,600	7,900	8,200	8,300	8,300
南山小学校区	7,824	7,800	7,600	7,400	7,200	6,900
池の上小学校区	6,392	6,800	7,000	7,000	6,800	6,500
桜台小学校区	7,021	7,200	7,700	7,700	7,700	7,600
合計	60,345	62,900	65,500	65,200	63,900	62,200

図表6-2 小学校区別推計人口



平成22年と平成37年の小学校区別の年齢3区分別人口比率を比較すると、年少人口比率は、池の上小学校区では増加しますが、その他の小学校区では減少する見込みです。

また、全ての小学校区において、生産年齢人口比率は減少し、高齢者人口比率は増加する見込みです。

図表6-3 平成22年と平成37年の小学校区別・年齢3区分別人口比率の比較

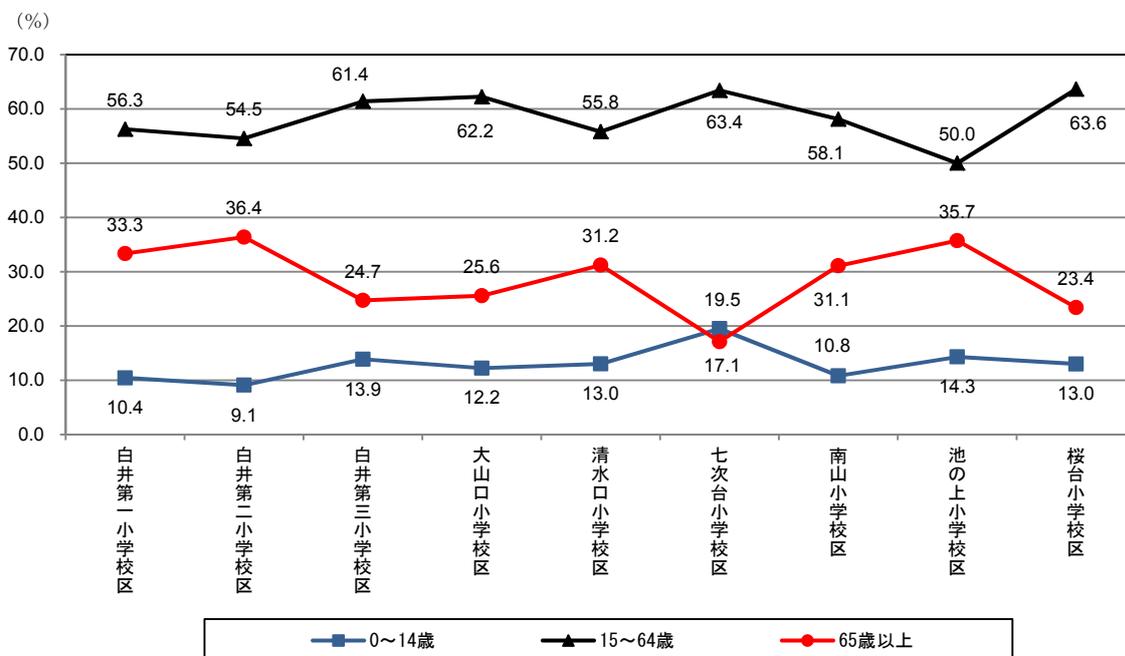
(単位：%)

	0～14歳			15～64歳			65歳以上		
	平成22年	平成37年	増減	平成22年	平成37年	増減	平成22年	平成37年	増減
白井第一小学校区	13.1	10.4	-2.7	63.0	56.3	-6.8	23.9	33.3	9.5
白井第二小学校区	11.6	9.1	-2.5	62.2	54.5	-7.7	26.2	36.4	10.2
白井第三小学校区	17.5	13.9	-3.6	64.7	61.4	-3.4	17.8	24.7	6.9
大山口小学校区	18.4	12.2	-6.2	65.8	62.2	-3.5	15.8	25.6	9.7
清水口小学校区	14.6	13.0	-1.6	65.6	55.8	-9.8	19.8	31.2	11.4
七次台小学校区	21.2	19.5	-1.7	66.5	63.4	-3.1	12.3	17.1	4.8
南山小学校区	16.0	10.8	-5.2	66.3	58.1	-8.2	17.7	31.1	13.4
池の上小学校区	11.6	14.3	2.7	67.1	50.0	-17.1	21.3	35.7	14.4
桜台小学校区	16.1	13.0	-3.1	71.8	63.6	-8.2	12.1	23.4	11.3

平成37年における小学校区別の年齢3区分別人口比率をみると、七次台小学校区は年少人口比率が最も高く、高齢者人口比率を上回っています。

白井第二小学校区では、年少人口比率が最も低く、高齢者人口比率が最も高くなっています。

図表6-4 平成37年の小学校区別・年齢3区分別推計人口比率の比較



①白井第一小学校区

白井第一小学校区の平成37年の人口は、4,800人と推計されます。平成32年までは横ばいで推移しますが、その後減少していく見込みです。

また、年少人口と生産年齢人口は減少する一方で、高齢者人口は平成32年まで増加した後、横ばいで推移する見込みです。

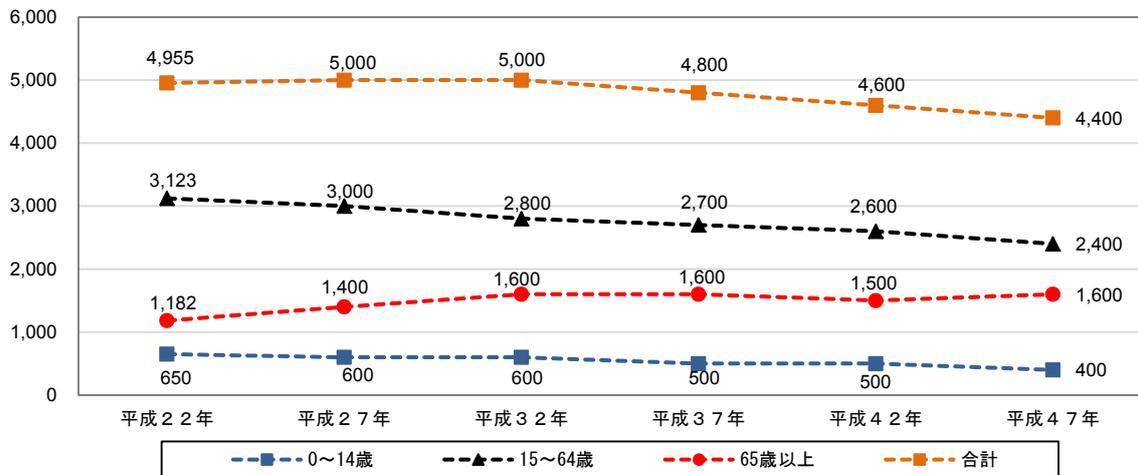
図表6-5 推計人口と年齢3区分別推計人口(比率)

(単位:人、%)

		実績	推計				
		平成22年	平成27年	平成32年	平成37年	平成42年	平成47年
人口	0~14歳	650	600	600	500	500	400
	15~64歳	3,123	3,000	2,800	2,700	2,600	2,400
	65歳以上	1,182	1,400	1,600	1,600	1,500	1,600
	うち75歳以上	541	600	800	900	1,000	1,000
	合計	4,955	5,000	5,000	4,800	4,600	4,400
比率	0~14歳	13.1	12.0	12.0	10.4	10.9	9.1
	15~64歳	63.0	60.0	56.0	56.3	56.5	54.5
	65歳以上	23.9	28.0	32.0	33.3	32.6	36.4
	うち75歳以上	10.9	12.0	16.0	18.8	21.7	22.7
	合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

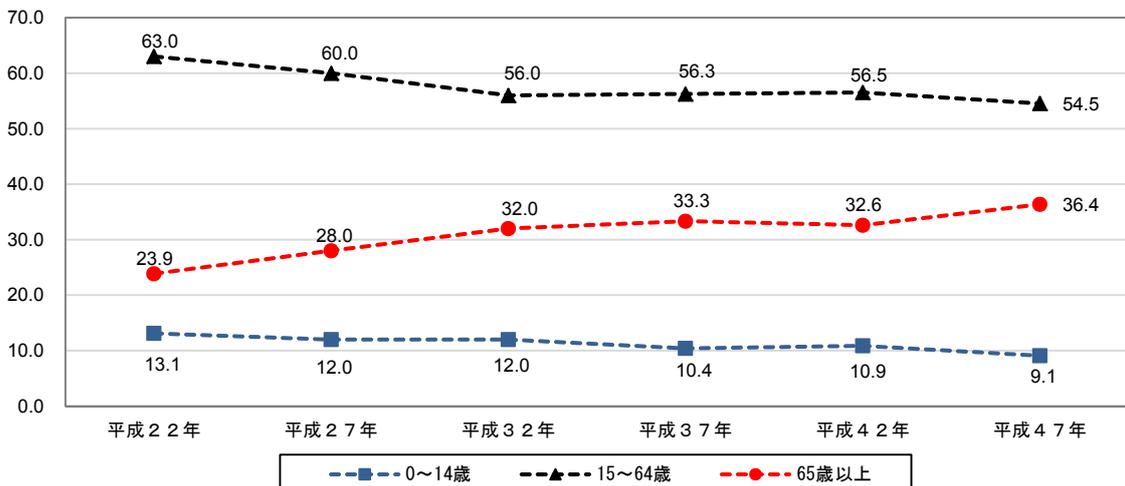
図表6-6 推計人口と年齢3区分別推計人口

(人)



図表6-7 年齢3区分別推計人口比率

(%)



②白井第二小学校区

白井第二小学校区の平成37年の人口は、3,300人と推計され、平成22年以後、一貫して減少していく見込みです。

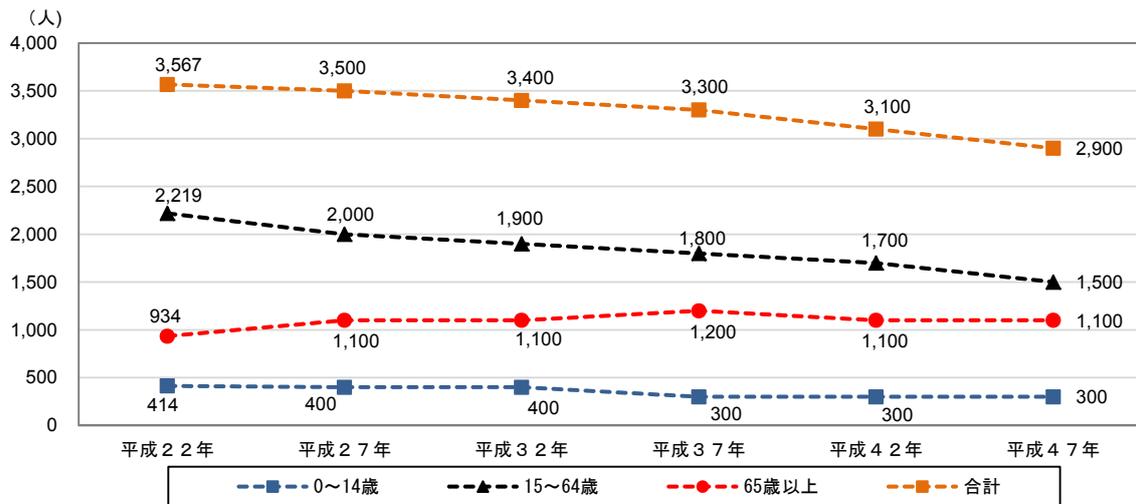
また、年少人口と生産年齢人口は減少するものの、高齢者人口は平成27年以後おおむね横ばいで推移する見込みです。

図表6-8 推計人口と年齢3区分別推計人口(比率)

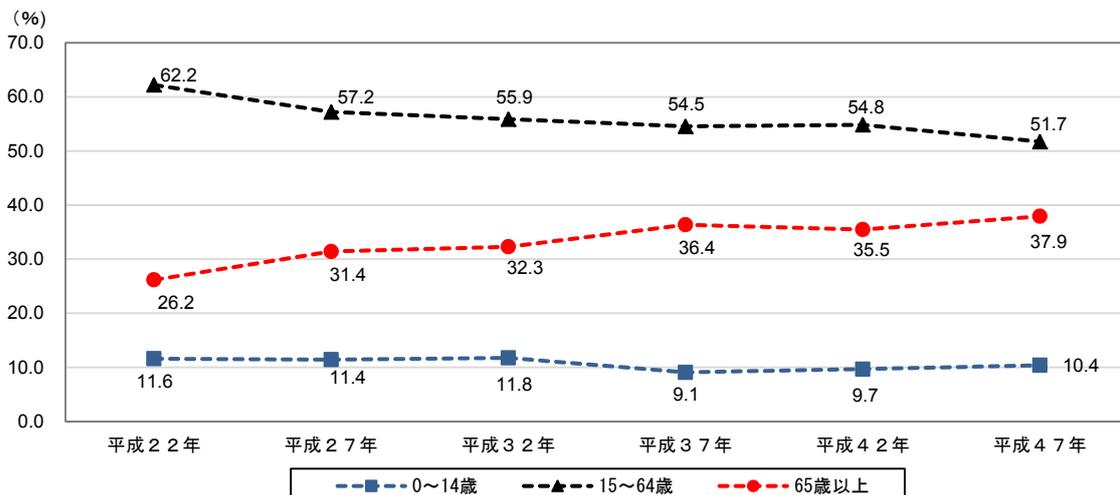
(単位:人、%)

		実績	推計				
		平成22年	平成27年	平成32年	平成37年	平成42年	平成47年
人口	0~14歳	414	400	400	300	300	300
	15~64歳	2,219	2,000	1,900	1,800	1,700	1,500
	65歳以上	934	1,100	1,100	1,200	1,100	1,100
	うち75歳以上	450	500	600	700	700	700
	合計	3,567	3,500	3,400	3,300	3,100	2,900
比率	0~14歳	11.6	11.4	11.8	9.1	9.7	10.4
	15~64歳	62.2	57.2	55.9	54.5	54.8	51.7
	65歳以上	26.2	31.4	32.3	36.4	35.5	37.9
	うち75歳以上	12.6	14.3	17.6	21.2	22.6	24.1
	合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

図表6-9 推計人口と年齢3区分別推計人口



図表6-10 年齢3区分別推計人口比率



③白井第三小学校区

白井第三小学校区の平成37年の人口は、10,100人と推計されます。平成32年までは開発による人口流入に伴い増加し、その後減少していく見込みです。

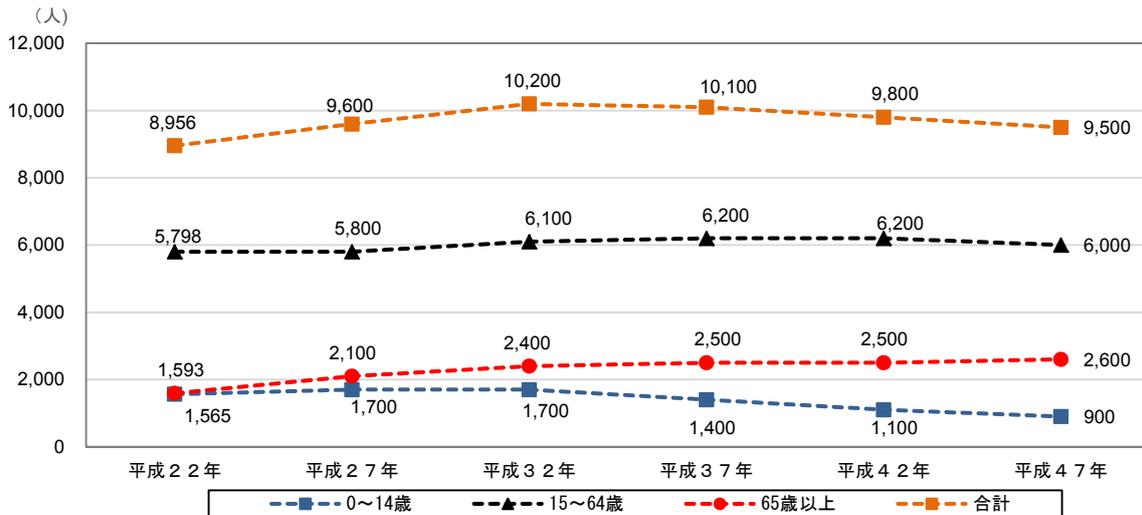
また、年少人口は平成32年を、生産年齢人口は平成42年をピークに減少に転じる一方で、高齢者人口は増加していく見込みです。

図表6-11 推計人口と年齢3区分別推計人口（比率）

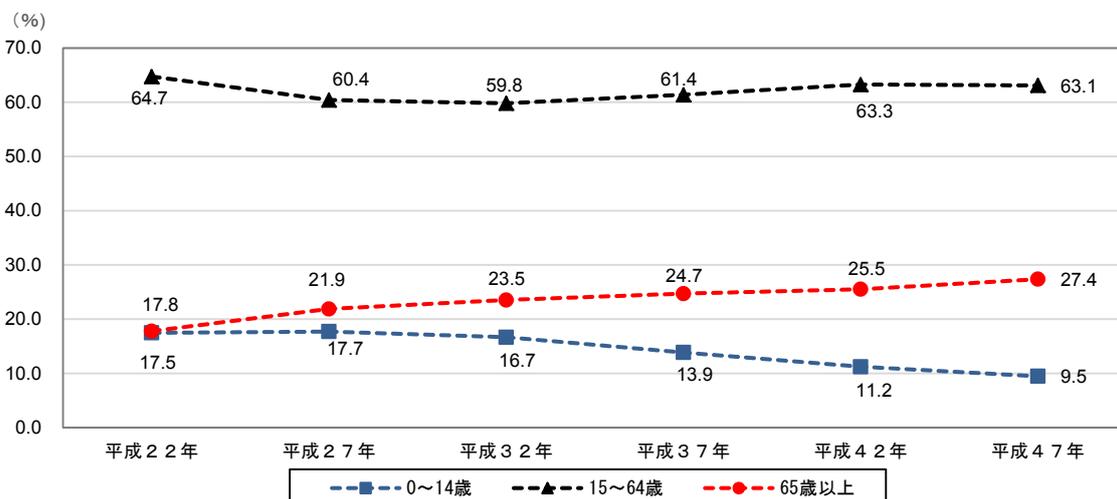
（単位：人、％）

		実績		推計			
		平成22年	平成27年	平成32年	平成37年	平成42年	平成47年
人口	0～14歳	1,565	1,700	1,700	1,400	1,100	900
	15～64歳	5,798	5,800	6,100	6,200	6,200	6,000
	65歳以上	1,593	2,100	2,400	2,500	2,500	2,600
	うち75歳以上	474	700	1,100	1,500	1,600	1,600
	合計	8,956	9,600	10,200	10,100	9,800	9,500
比率	0～14歳	17.5	17.7	16.7	13.9	11.2	9.5
	15～64歳	64.7	60.4	59.8	61.4	63.3	63.1
	65歳以上	17.8	21.9	23.5	24.7	25.5	27.4
	うち75歳以上	5.3	7.3	10.8	14.9	16.3	16.8
	合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

図表6-12 推計人口と年齢3区分別推計人口



図表6-13 年齢3区分別推計人口比率



④大山口小学校区

大山口小学校区の平成37年の人口は、9,000人と推計されます。平成37年までは開発による人口流入に伴い増加し、その後減少していく見込みです。

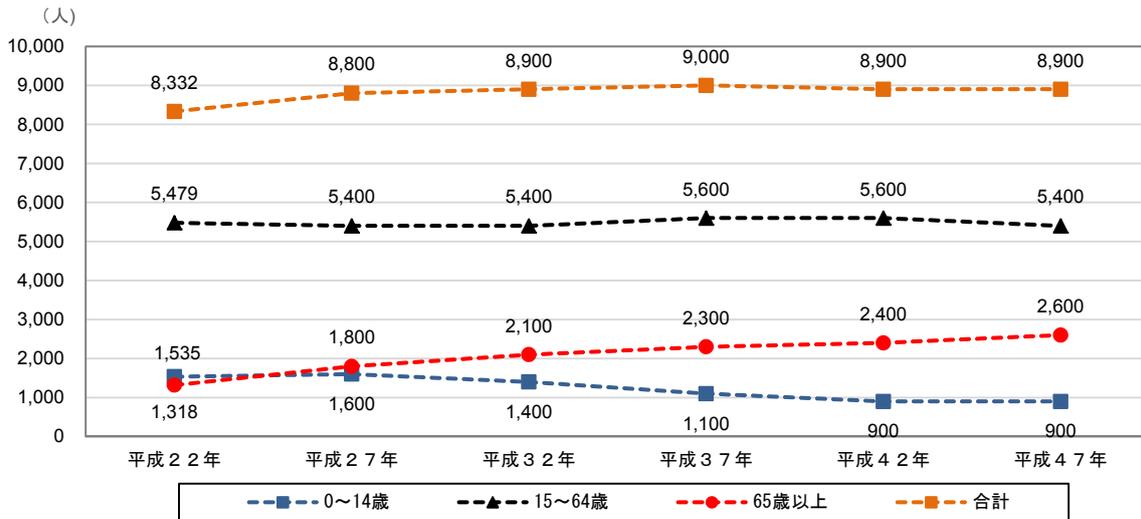
また、年少人口は平成27年以後減少していき、生産年齢人口は平成42年をピークに減少に転じる一方で、高齢者人口は増加していく見込みです。

図表6-14 推計人口と年齢3区分別推計人口(比率)

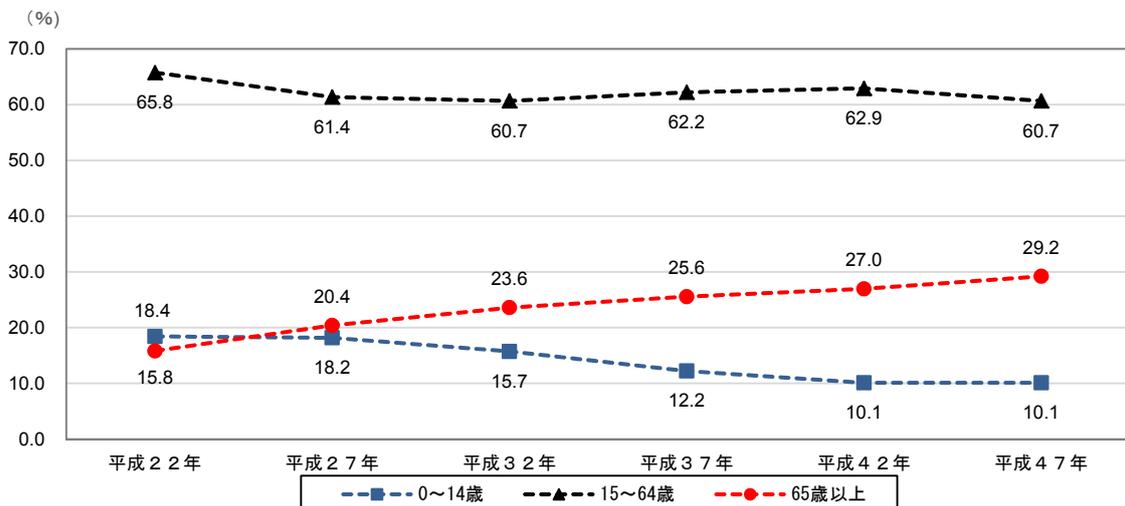
(単位:人、%)

		実績		推計			
		平成22年	平成27年	平成32年	平成37年	平成42年	平成47年
人口	0~14歳	1,535	1,600	1,400	1,100	900	900
	15~64歳	5,479	5,400	5,400	5,600	5,600	5,400
	65歳以上	1,318	1,800	2,100	2,300	2,400	2,600
	うち75歳以上	407	600	1,000	1,300	1,500	1,500
	合計	8,332	8,800	8,900	9,000	8,900	8,900
比率	0~14歳	18.4	18.2	15.7	12.2	10.1	10.1
	15~64歳	65.8	61.4	60.7	62.2	62.9	60.7
	65歳以上	15.8	20.4	23.6	25.6	27.0	29.2
	うち75歳以上	4.9	6.8	11.2	14.4	16.9	16.9
	合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

図表6-15 推計人口と年齢3区分別推計人口



図表6-16 年齢3区分別推計人口比率



⑤清水口小学校区

清水口小学校区の平成37年の人口は、7,700人と推計されます。平成32年までは開発による人口流入に伴い増加し、その後減少していく見込みです。

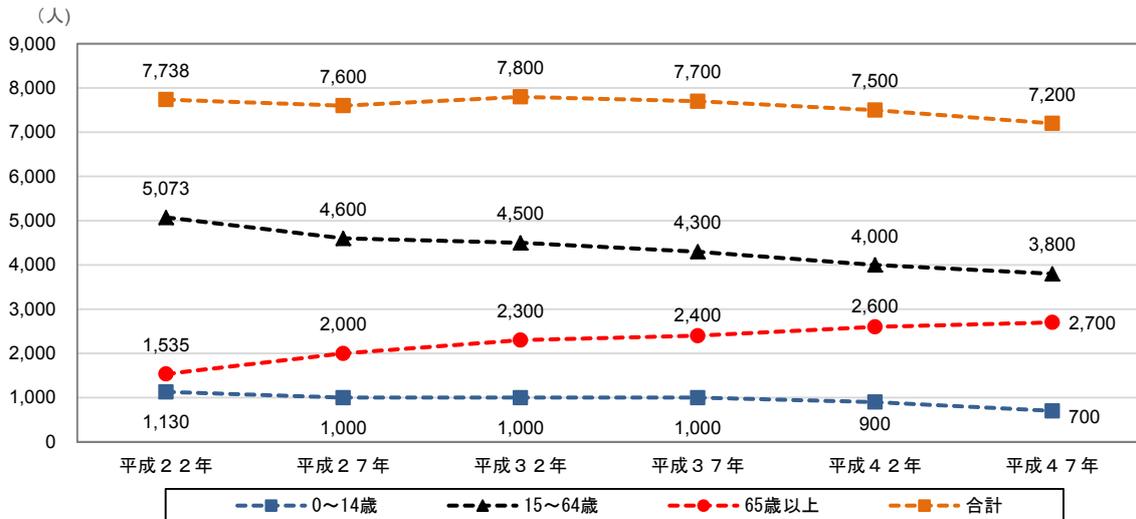
また、年少人口と生産年齢人口は減少する一方で、高齢者人口は増加していく見込みです。

図表6-17 推計人口と年齢3区分別推計人口(比率)

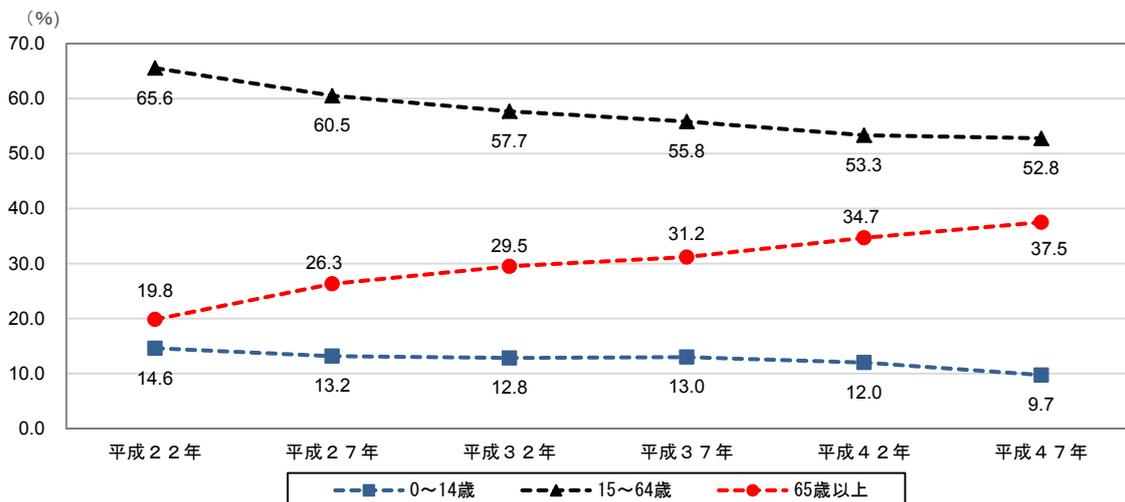
(単位:人、%)

		実績	推計				
		平成22年	平成27年	平成32年	平成37年	平成42年	平成47年
人口	0~14歳	1,130	1,000	1,000	1,000	900	700
	15~64歳	5,073	4,600	4,500	4,300	4,000	3,800
	65歳以上	1,535	2,000	2,300	2,400	2,600	2,700
	うち75歳以上	481	800	1,200	1,600	1,700	1,700
	合計	7,738	7,600	7,800	7,700	7,500	7,200
比率	0~14歳	14.6	13.2	12.8	13.0	12.0	9.7
	15~64歳	65.6	60.5	57.7	55.8	53.3	52.8
	65歳以上	19.8	26.3	29.5	31.2	34.7	37.5
	うち75歳以上	6.2	10.5	15.4	20.8	22.7	23.6
	合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

図表6-18 推計人口と年齢3区分別推計人口



図表6-19 年齢3区分別推計人口比率



⑥七次台小学校区

七次台小学校区の平成37年の人口は、8,200人と推計されます。平成42年まで開発による人口流入に伴い増加し、その後横ばいで推移する見込みです。

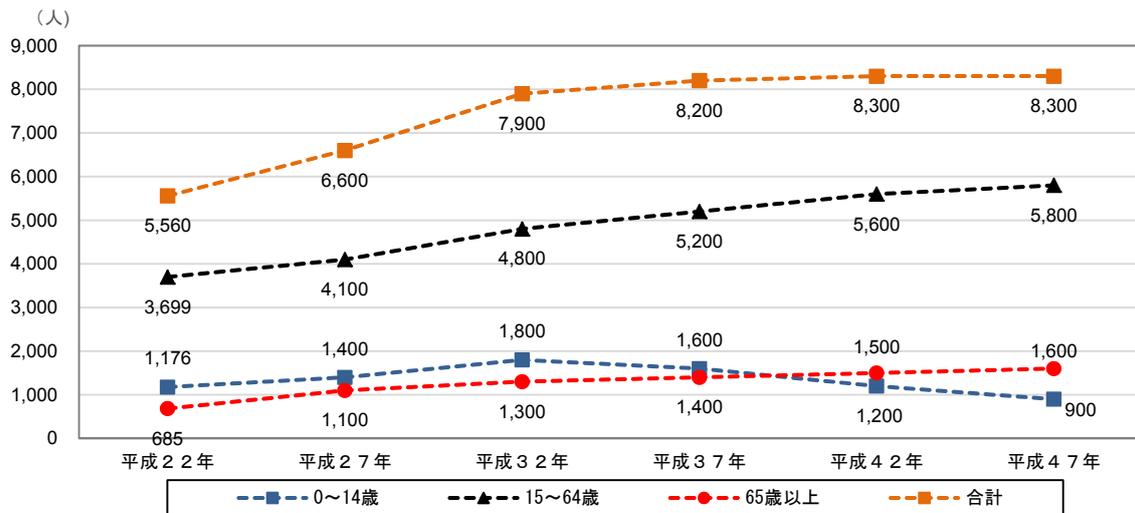
また、年少人口は平成32年をピークに減少に転じる一方で、生産年齢人口と高齢者人口は増加していく見込みです。

図表6-20 推計人口と年齢3区分別推計人口（比率）

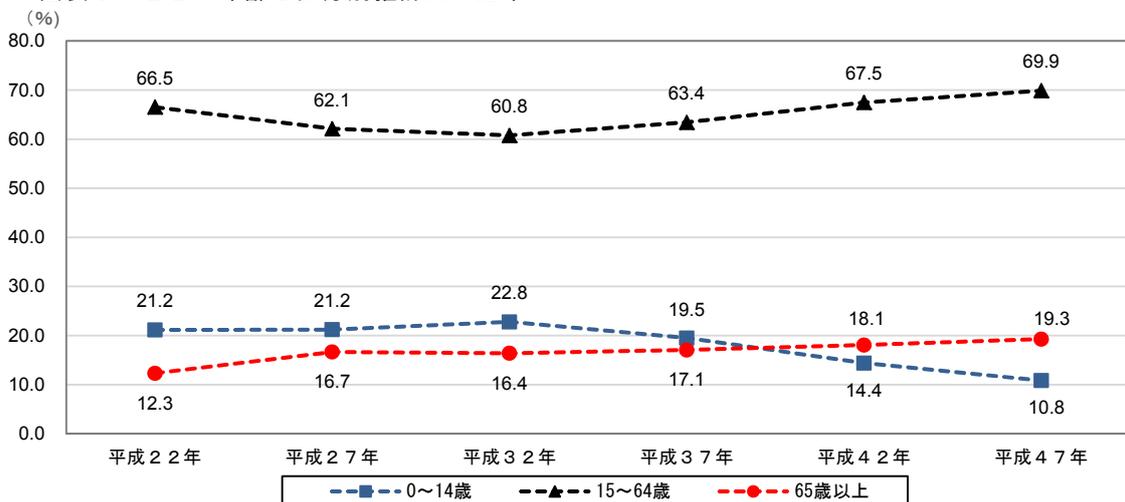
（単位：人、％）

		実績	推計				
		平成22年	平成27年	平成32年	平成37年	平成42年	平成47年
人口	0～14歳	1,176	1,400	1,800	1,600	1,200	900
	15～64歳	3,699	4,100	4,800	5,200	5,600	5,800
	65歳以上	685	1,100	1,300	1,400	1,500	1,600
	うち75歳以上	216	300	500	800	1,000	1,000
	合計	5,560	6,600	7,900	8,200	8,300	8,300
比率	0～14歳	21.2	21.2	22.8	19.5	14.4	10.8
	15～64歳	66.5	62.1	60.8	63.4	67.5	69.9
	65歳以上	12.3	16.7	16.4	17.1	18.1	19.3
	うち75歳以上	3.9	4.5	6.3	9.8	12.0	12.0
	合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

図表6-21 推計人口と年齢3区分別推計人口



図表6-22 年齢3区分別推計人口比率



⑦南山小学校区

南山小学校区の平成37年の人口は、7,400人と推計され、平成22年以後、一貫して減少していく見込みです。

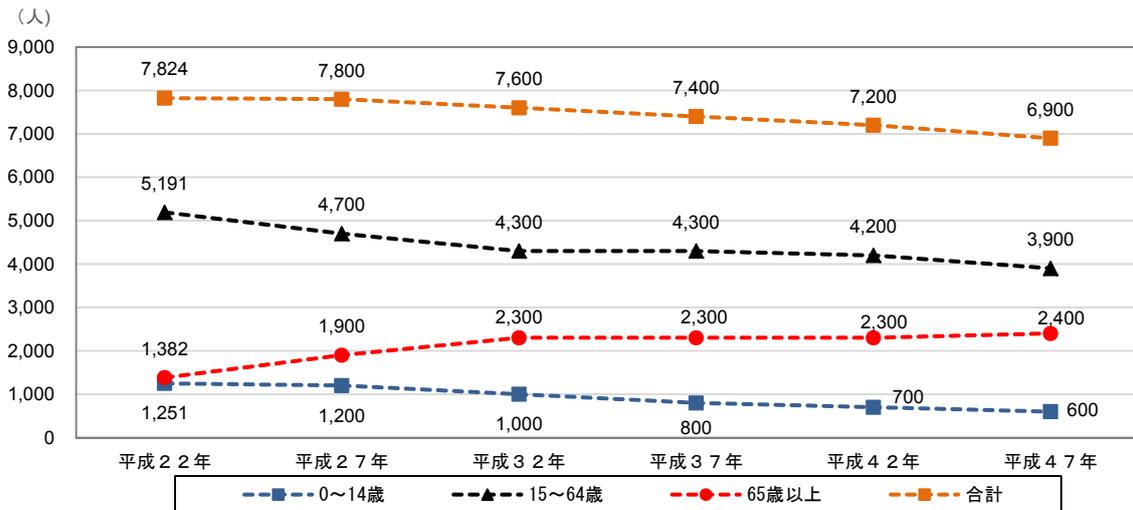
また、年少人口と生産年齢人口は減少する一方で、高齢者人口は増加していく見込みです。

図表6-23 推計人口と年齢3区分別推計人口（比率）

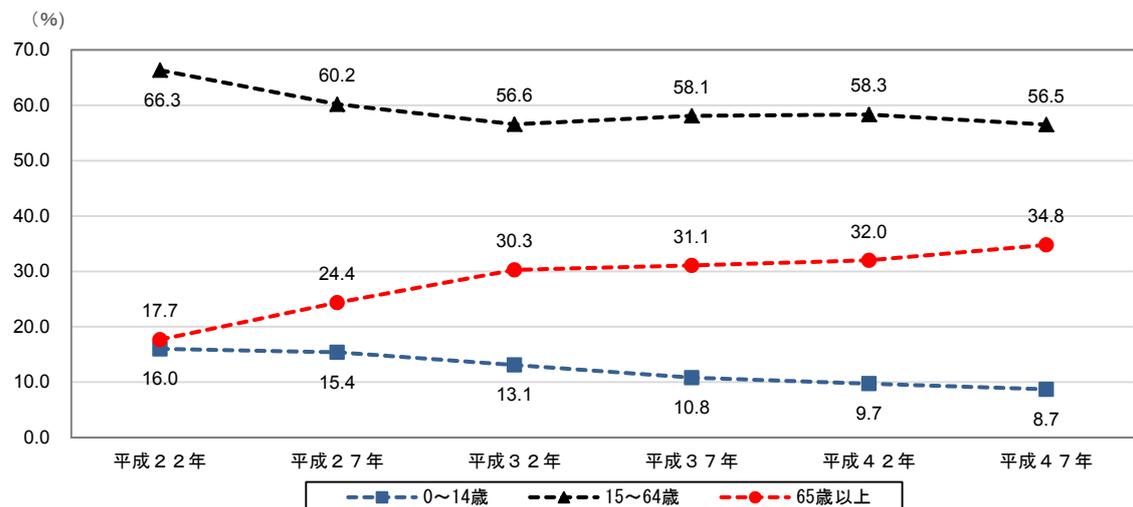
（単位：人、％）

		実績		推計			
		平成22年	平成27年	平成32年	平成37年	平成42年	平成47年
人口	0～14歳	1,251	1,200	1,000	800	700	600
	15～64歳	5,191	4,700	4,300	4,300	4,200	3,900
	65歳以上	1,382	1,900	2,300	2,300	2,300	2,400
	うち75歳以上	440	700	1,000	1,400	1,500	1,500
	合計	7,824	7,800	7,600	7,400	7,200	6,900
比率	0～14歳	16.0	15.4	13.1	10.8	9.7	8.7
	15～64歳	66.3	60.2	56.6	58.1	58.3	56.5
	65歳以上	17.7	24.4	30.3	31.1	32.0	34.8
	うち75歳以上	5.6	9.0	13.2	18.9	20.8	21.7
	合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

図表6-24 推計人口と年齢3区分別推計人口



図表6-25 年齢3区分別推計人口比率



⑧池の上小学校区

池の上小学校区の平成37年の人口は、7,000人と推計されます。平成42年まで開発による人口流入に伴い増加し、その後減少していく見込みです。

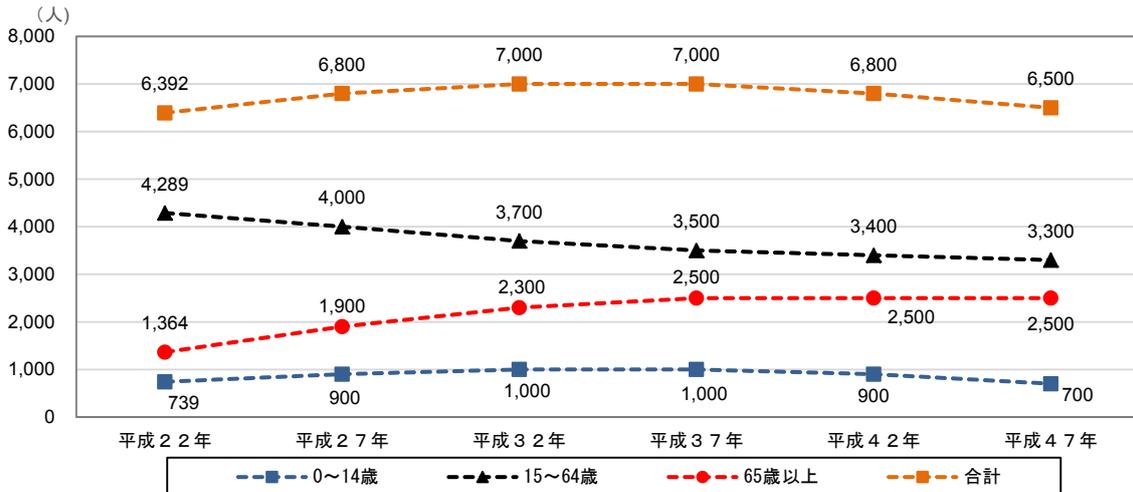
また、年少人口は平成37年をピークに減少に転じ、生産年齢人口は平成22年以後一貫して減少する見込みです。高齢者人口は平成37年まで増加した後、横ばいで推移する見込みです。

図表6-26 推計人口と年齢3区分別推計人口（比率）

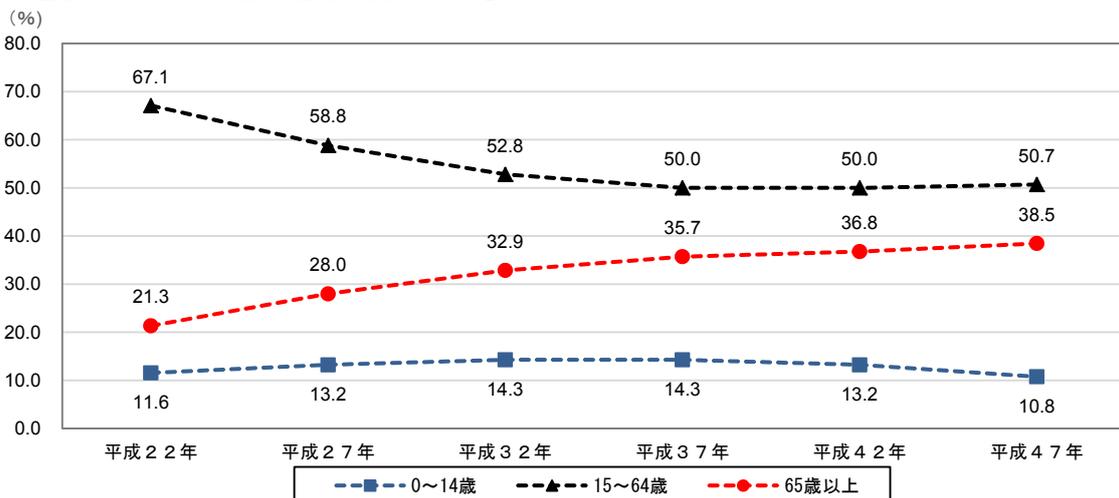
（単位：人、％）

		実績	推計				
		平成22年	平成27年	平成32年	平成37年	平成42年	平成47年
人口	0～14歳	739	900	1,000	1,000	900	700
	15～64歳	4,289	4,000	3,700	3,500	3,400	3,300
	65歳以上	1,364	1,900	2,300	2,500	2,500	2,500
	うち75歳以上	586	800	1,100	1,500	1,800	1,800
	合計	6,392	6,800	7,000	7,000	6,800	6,500
比率	0～14歳	11.6	13.2	14.3	14.3	13.2	10.8
	15～64歳	67.1	58.8	52.8	50.0	50.0	50.7
	65歳以上	21.3	28.0	32.9	35.7	36.8	38.5
	うち75歳以上	9.2	11.8	15.7	21.4	26.5	27.7
	合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

図表6-27 推計人口と年齢3区分別推計人口



図表6-28 年齢3区分別推計人口比率



⑨桜台小学校区

桜台小学校区の平成37年の人口は、7,700人と推計されます。平成42年まで開発による人口流入に伴い増加し、その後減少していく見込みです。

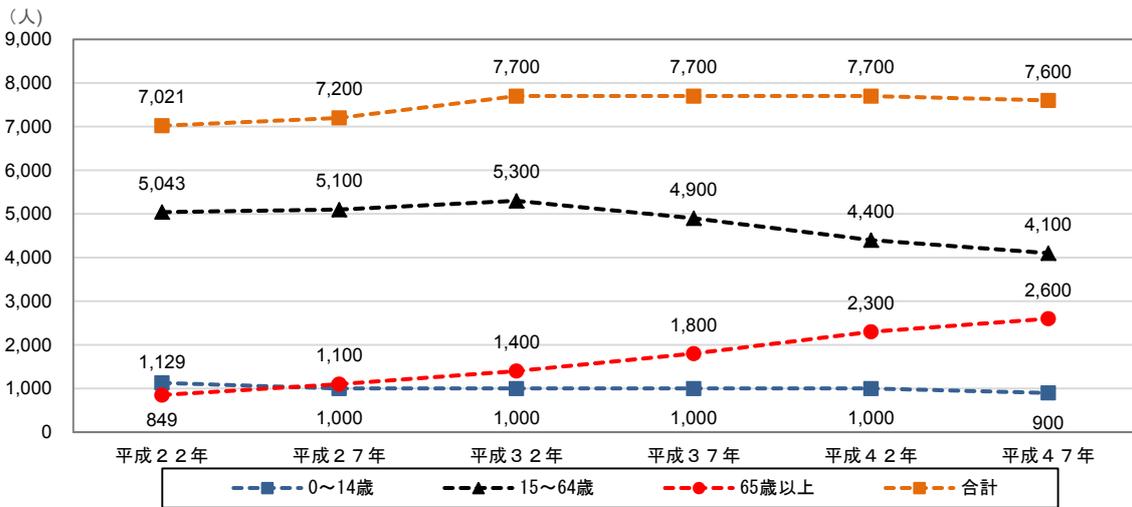
また、年少人口はおおむね横ばいで推移する見込みです。生産年齢人口は平成32年をピークに減少する一方で、高齢者人口は増加する見込みです。

図表6-29 推計人口と年齢3区分別推計人口(比率)

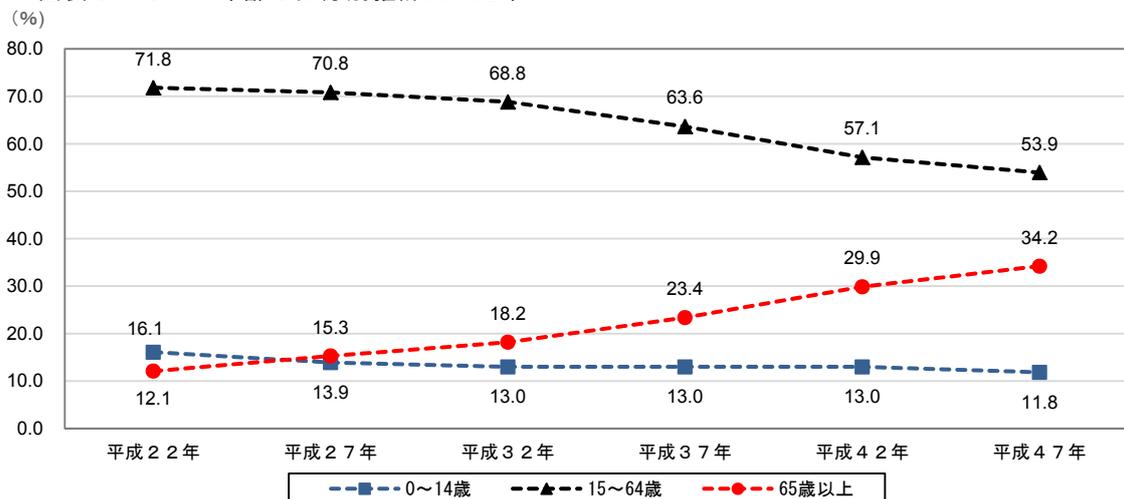
(単位:人、%)

		実績		推計			
		平成22年	平成27年	平成32年	平成37年	平成42年	平成47年
人口	0~14歳	1,129	1,000	1,000	1,000	1,000	900
	15~64歳	5,043	5,100	5,300	4,900	4,400	4,100
	65歳以上	849	1,100	1,400	1,800	2,300	2,600
	うち75歳以上	341	500	600	800	1,000	1,300
	合計	7,021	7,200	7,700	7,700	7,700	7,600
比率	0~14歳	16.1	13.9	13.0	13.0	13.0	11.8
	15~64歳	71.8	70.8	68.8	63.6	57.1	53.9
	65歳以上	12.1	15.3	18.2	23.4	29.9	34.2
	うち75歳以上	4.9	6.9	7.8	10.4	13.0	17.1
	合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

図表6-30 推計人口と年齢3区分別推計人口



図表6-31 年齢3区分別推計人口比率



7 住民基本台帳人口の推計（参考）

国勢調査人口に基づく人口推計のほか、参考として住民基本台帳人口に基づく人口推計を行います。

（1）推計方法

推計手法及び推計期間は、国勢調査人口による人口推計と同様とします。

基準人口は、平成26年3月31日現在の住民基本台帳人口とします。

推計の前提は次のとおりです。

人口変動要因	設定項目	設定内容
出生	① 女性年齢5歳階層別出生率	社人研の「日本の将来推計人口（平成24年1月推計）」における「女性の年齢各歳別出生率（中位仮定）」を基準として、本市の実績（平成16年～25年）との乖離率を補正して設定
	② 出生性比	本市の実績（平成16年～25年）に基づく出生性比で設定
死亡	③ 男女年齢5歳階層別生残率	社人研の日本の将来推計人口（平成24年1月推計）の男女年齢別将来生命表（中位仮定）に基づく生残率を基準として、本市の実績（平成16年～25年）との乖離率を補正して設定
移動	④ 男女年齢5歳階層別純移動率	平成21年～26年の住民基本台帳人口の趨勢に基づく純移動率（開発等の短期的な特殊要因の影響を補正したもの）に、平成26年度以後の開発（想定）の影響を加味して設定

（2）推計結果

図表7-1 推計人口

（単位：人）

	実績			推計				
	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	平成32年	平成37年	平成42年	平成47年
総人口	50,760	53,716	60,942	63,000	65,900	65,500	64,100	62,200

※基準日は、各年3月31日です。

※平成22年までは住民基本台帳人口と外国人登録人口を合計したものです。

図表7-2 年齢3区分別推計人口と年齢3区分別推計人口比率

（単位：人、％）

		実績			推計				
		平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	平成32年	平成37年	平成42年	平成47年
人口	0～14歳	8,480	7,974	9,601	9,800	10,000	8,700	7,500	6,300
	15～64歳	37,471	38,723	40,941	39,300	39,300	38,800	37,900	36,200
	65歳以上	4,809	7,019	10,400	13,900	16,600	18,000	18,700	19,700
比率	0～14歳	16.7	14.8	15.7	15.5	15.2	13.3	11.7	10.1
	15～64歳	73.8	72.1	67.2	62.4	59.6	59.2	59.1	58.2
	65歳以上	9.5	13.1	17.1	22.1	25.2	27.5	29.2	31.7

※基準日は、各年3月31日です。

※平成22年までは住民基本台帳人口と外国人登録人口を合計したものです。

8 住民基本台帳世帯数の推計（参考）

国勢調査人口に基づく世帯数推計のほか、参考として住民基本台帳人口に基づく世帯数推計を行います。

（１）推計方法

推計手法及び推計期間は、国勢調査人口による世帯数推計と同様とします。

推計の前提については、将来的に世帯構成の変化が一定程度予想されるため、社人研の「日本の世帯数の将来推計（都道府県別推計）（平成26年4月）」の千葉県の世帯主率を活用し、当該世帯主率から求められる家族類型別世帯数と平成26年3月31日現在の住民基本台帳に基づく本市の家族類型別世帯数との乖離率に応じて補正して、男女別年齢5歳階層別世帯主率の仮定値を設定します。

（２）推計結果

図表8-1 推計世帯数及び平均世帯人員

（単位：世帯、人）

	実績			推計				
	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	平成32年	平成37年	平成42年	平成47年
総世帯数	16,190	18,711	22,539	24,418	25,605	25,916	25,693	25,314
平均世帯人員	3.14	2.87	2.70	2.58	2.57	2.53	2.49	2.46

※基準日は、各年3月31日です。

※平成22年までは住民基本台帳に基づく世帯数と外国人登録世帯数のうち外国人のみの世帯数を合計したものです。

図表8-2 家族類型別推計世帯数と家族類型別推計世帯比率

（単位：世帯、％）

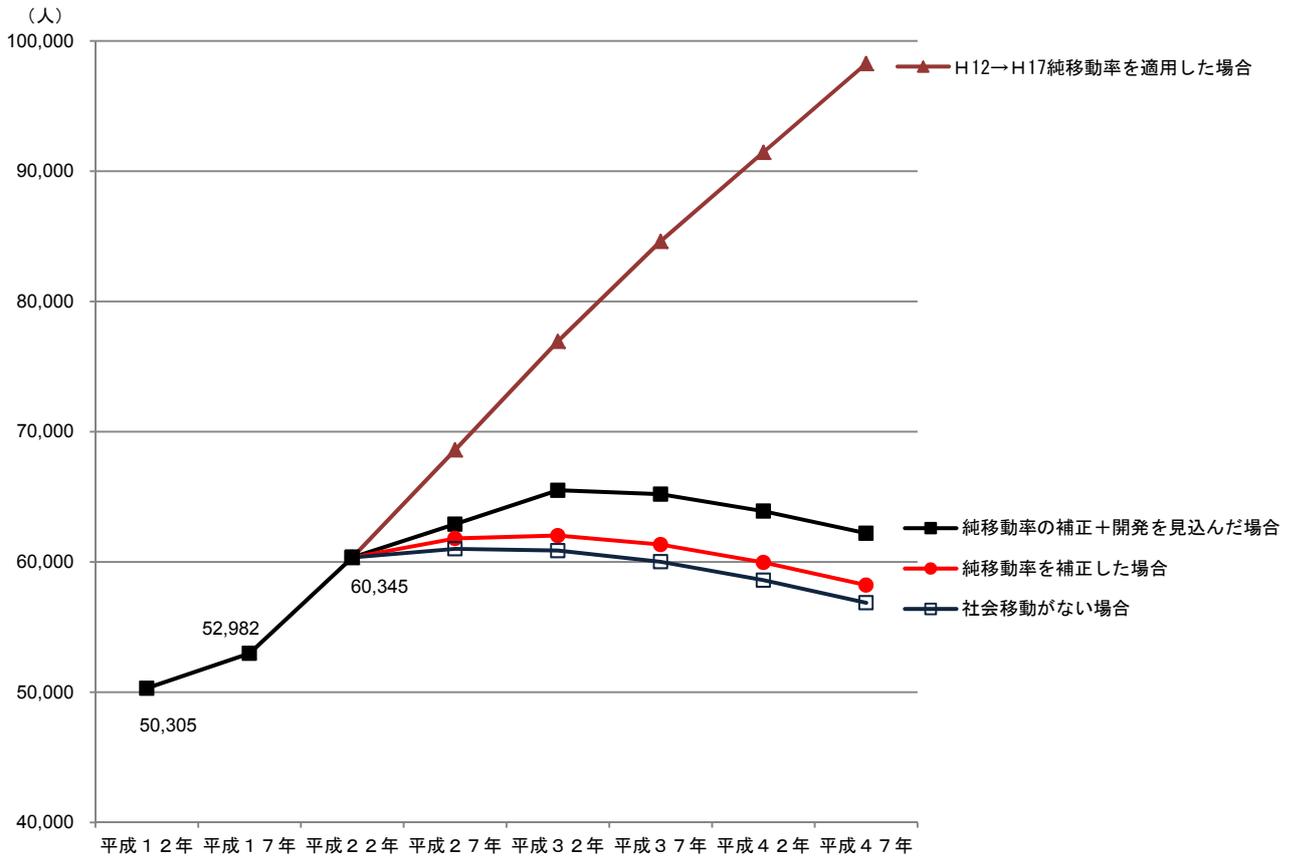
	実績	推計					
		平成27年	平成32年	平成37年	平成42年	平成47年	
世帯数	単独世帯	-	4,361	4,947	5,382	5,696	5,707
	夫婦のみの世帯	-	5,732	6,193	6,352	6,422	6,577
	夫婦と子から成る世帯	-	10,050	10,190	9,824	9,225	8,748
	ひとり親と子から成る世帯	-	2,099	2,397	2,609	2,728	2,682
	その他の世帯	-	1,994	1,878	1,749	1,622	1,600
比率	単独世帯	-	18.0	19.3	20.8	22.2	22.5
	夫婦のみの世帯	-	23.7	24.2	24.5	25.0	26.0
	夫婦と子から成る世帯	-	41.5	39.8	37.9	35.9	34.6
	ひとり親と子から成る世帯	-	8.7	9.4	10.1	10.6	10.6
	その他の世帯	-	8.2	7.3	6.7	6.3	6.3

※基準日は、各年3月31日です。

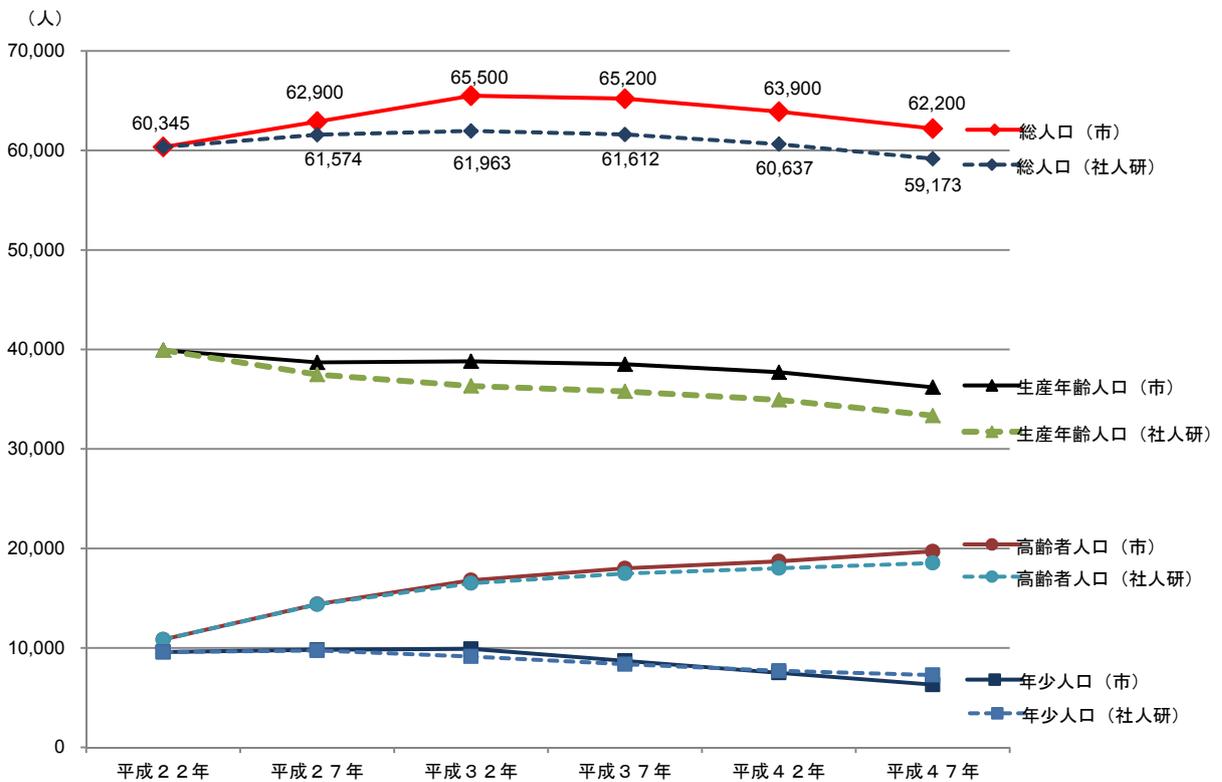
※実績については、住民基本台帳と外国人登録に基づく世帯の家族類型別世帯数の統計がないため、把握していません。

資料

1 推計結果の比較



2 社人研の「日本の地域別将来推計人口（平成25年3月推計）」との比較



3 国勢調査各年男女別年齢5歳階層別推計人口

(単位:人)

	平成27年			平成28年			平成29年			平成30年		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
0-4歳	1,496	1,455	2,951	1,519	1,478	2,997	1,542	1,501	3,043	1,565	1,524	3,089
5-9歳	1,723	1,675	3,398	1,706	1,657	3,363	1,689	1,639	3,328	1,672	1,621	3,293
10-14歳	1,709	1,702	3,411	1,725	1,712	3,437	1,741	1,722	3,463	1,757	1,732	3,489
15-19歳	1,566	1,377	2,943	1,595	1,428	3,023	1,624	1,479	3,103	1,653	1,530	3,183
20-24歳	1,426	1,368	2,794	1,423	1,356	2,779	1,420	1,344	2,764	1,417	1,332	2,749
25-29歳	1,477	1,553	3,030	1,465	1,532	2,997	1,453	1,511	2,964	1,441	1,490	2,931
30-34歳	1,676	1,857	3,533	1,673	1,830	3,503	1,670	1,803	3,473	1,667	1,776	3,443
35-39歳	2,378	2,314	4,692	2,273	2,254	4,527	2,168	2,194	4,362	2,063	2,134	4,197
40-44歳	2,963	2,824	5,787	2,889	2,751	5,640	2,815	2,678	5,493	2,741	2,605	5,346
45-49歳	2,366	2,009	4,375	2,518	2,171	4,689	2,670	2,333	5,003	2,822	2,495	5,317
50-54歳	1,876	1,846	3,722	1,979	1,871	3,850	2,082	1,896	3,978	2,185	1,921	4,106
55-59歳	1,734	1,880	3,614	1,756	1,876	3,632	1,778	1,872	3,650	1,800	1,868	3,668
60-64歳	2,022	2,242	4,264	1,959	2,168	4,127	1,896	2,094	3,990	1,833	2,020	3,853
65-69歳	2,436	2,537	4,973	2,334	2,473	4,807	2,232	2,409	4,641	2,130	2,345	4,475
70-74歳	1,944	2,044	3,988	2,008	2,132	4,140	2,072	2,220	4,292	2,136	2,308	4,444
75-79歳	1,264	1,253	2,517	1,355	1,404	2,759	1,446	1,555	3,001	1,537	1,706	3,243
80-84歳	665	883	1,548	738	939	1,677	811	995	1,806	884	1,051	1,935
85歳-	414	988	1,402	454	1,058	1,512	494	1,128	1,622	534	1,198	1,732
合計	31,135	31,807	62,942	31,369	32,090	63,459	31,603	32,373	63,976	31,837	32,656	64,493

	平成31年			平成32年			平成33年			平成34年		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
0-4歳	1,588	1,547	3,135	1,609	1,571	3,180	1,514	1,476	2,990	1,419	1,381	2,800
5-9歳	1,655	1,603	3,258	1,638	1,585	3,223	1,639	1,587	3,226	1,640	1,589	3,229
10-14歳	1,773	1,742	3,515	1,788	1,753	3,541	1,761	1,722	3,483	1,734	1,691	3,425
15-19歳	1,682	1,581	3,263	1,710	1,634	3,344	1,726	1,644	3,370	1,742	1,654	3,396
20-24歳	1,414	1,320	2,734	1,413	1,306	2,719	1,439	1,355	2,794	1,465	1,404	2,869
25-29歳	1,429	1,469	2,898	1,416	1,450	2,866	1,390	1,416	2,806	1,364	1,382	2,746
30-34歳	1,664	1,749	3,413	1,659	1,722	3,381	1,612	1,667	3,279	1,565	1,612	3,177
35-39歳	1,958	2,074	4,032	1,854	2,014	3,868	1,822	1,956	3,778	1,790	1,898	3,688
40-44歳	2,667	2,532	5,199	2,592	2,459	5,051	2,455	2,370	4,825	2,318	2,281	4,599
45-49歳	2,974	2,657	5,631	3,125	2,818	5,943	3,047	2,745	5,792	2,969	2,672	5,641
50-54歳	2,288	1,946	4,234	2,389	1,971	4,360	2,543	2,130	4,673	2,697	2,289	4,986
55-59歳	1,822	1,864	3,686	1,846	1,860	3,706	1,948	1,885	3,833	2,050	1,910	3,960
60-64歳	1,770	1,946	3,716	1,706	1,874	3,580	1,729	1,870	3,599	1,752	1,866	3,618
65-69歳	2,028	2,281	4,309	1,925	2,218	4,143	1,866	2,146	4,012	1,807	2,074	3,881
70-74歳	2,200	2,396	4,596	2,266	2,485	4,751	2,172	2,423	4,595	2,078	2,361	4,439
75-79歳	1,628	1,857	3,485	1,721	2,008	3,729	1,781	2,096	3,877	1,841	2,184	4,025
80-84歳	957	1,107	2,064	1,028	1,165	2,193	1,106	1,308	2,414	1,184	1,451	2,635
85歳-	574	1,268	1,842	612	1,337	1,949	679	1,432	2,111	746	1,527	2,273
合計	32,071	32,939	65,010	32,297	33,230	65,527	32,229	33,228	65,457	32,161	33,226	65,387

	平成35年			平成36年			平成37年			平成38年		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
0-4歳	1,324	1,286	2,610	1,229	1,191	2,420	1,132	1,097	2,229	1,108	1,073	2,181
5-9歳	1,641	1,591	3,232	1,642	1,593	3,235	1,643	1,597	3,240	1,546	1,501	3,047
10-14歳	1,707	1,660	3,367	1,680	1,629	3,309	1,653	1,597	3,250	1,654	1,599	3,253
15-19歳	1,758	1,664	3,422	1,774	1,674	3,448	1,789	1,683	3,472	1,762	1,653	3,415
20-24歳	1,491	1,453	2,944	1,517	1,502	3,019	1,543	1,550	3,093	1,557	1,559	3,116
25-29歳	1,338	1,348	2,686	1,312	1,314	2,626	1,288	1,279	2,567	1,312	1,327	2,639
30-34歳	1,518	1,557	3,075	1,471	1,502	2,973	1,422	1,447	2,869	1,396	1,413	2,809
35-39歳	1,758	1,840	3,598	1,726	1,782	3,508	1,694	1,723	3,417	1,646	1,668	3,314
40-44歳	2,181	2,192	4,373	2,044	2,103	4,147	1,906	2,013	3,919	1,873	1,955	3,828
45-49歳	2,891	2,599	5,490	2,813	2,526	5,339	2,735	2,454	5,189	2,590	2,365	4,955
50-54歳	2,851	2,448	5,299	3,005	2,607	5,612	3,158	2,765	5,923	3,079	2,694	5,773
55-59歳	2,152	1,935	4,087	2,254	1,960	4,214	2,354	1,987	4,341	2,506	2,147	4,653
60-64歳	1,775	1,862	3,637	1,798	1,858	3,656	1,819	1,856	3,675	1,920	1,882	3,802
65-69歳	1,748	2,002	3,750	1,689	1,930	3,619	1,628	1,856	3,484	1,650	1,853	3,503
70-74歳	1,984	2,299	4,283	1,890	2,237	4,127	1,797	2,176	3,973	1,742	2,106	3,848
75-79歳	1,901	2,272	4,173	1,961	2,360	4,321	2,019	2,448	4,467	1,937	2,388	4,325
80-84歳	1,262	1,594	2,856	1,340	1,737	3,077	1,416	1,878	3,294	1,469	1,963	3,432
85歳-	813	1,622	2,435	880	1,717	2,597	948	1,810	2,758	1,036	1,988	3,024
合計	32,093	33,224	65,317	32,025	33,222	65,247	31,944	33,216	65,160	31,783	33,134	64,917

	平成39年			平成40年			平成41年			平成42年		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
0-4歳	1,084	1,049	2,133	1,060	1,025	2,085	1,036	1,001	2,037	1,010	979	1,989
5-9歳	1,449	1,405	2,854	1,352	1,309	2,661	1,255	1,213	2,468	1,156	1,115	2,271
10-14歳	1,655	1,601	3,256	1,656	1,603	3,259	1,657	1,605	3,262	1,658	1,609	3,267
15-19歳	1,735	1,623	3,358	1,708	1,593	3,301	1,681	1,563	3,244	1,653	1,533	3,186
20-24歳	1,571	1,568	3,139	1,585	1,577	3,162	1,599	1,586	3,185	1,615	1,596	3,211
25-29歳	1,336	1,375	2,711	1,360	1,423	2,783	1,384	1,471	2,855	1,408	1,518	2,926
30-34歳	1,370	1,379	2,749	1,344	1,345	2,689	1,318	1,311	2,629	1,294	1,276	2,570
35-39歳	1,598	1,613	3,211	1,550	1,558	3,108	1,502	1,503	3,005	1,452	1,448	2,900
40-44歳	1,840	1,897	3,737	1,807	1,839	3,646	1,774	1,781	3,555	1,741	1,722	3,463
45-49歳	2,445	2,276	4,721	2,300	2,187	4,487	2,155	2,098	4,253	2,011	2,010	4,021
50-54歳	3,000	2,623	5,623	2,921	2,552	5,473	2,842	2,481	5,323	2,765	2,410	5,175
55-59歳	2,658	2,307	4,965	2,810	2,467	5,277	2,962	2,627	5,589	3,114	2,789	5,903
60-64歳	2,021	1,908	3,929	2,122	1,934	4,056	2,223	1,960	4,183	2,323	1,984	4,307
65-69歳	1,672	1,850	3,522	1,694	1,847	3,541	1,716	1,844	3,560	1,740	1,840	3,580
70-74歳	1,687	2,036	3,723	1,632	1,966	3,598	1,577	1,896	3,473	1,524	1,824	3,348
75-79歳	1,855	2,328	4,183	1,773	2,268	4,041	1,691	2,208	3,899	1,610	2,150	3,760
80-84歳	1,522	2,048	3,570	1,575	2,133	3,708	1,628	2,218	3,846	1,679	2,303	3,982
85歳-	1,124	2,166	3,290	1,212	2,344	3,556	1,300	2,522	3,822	1,387	2,699	4,086
合計	31,622	33,052	64,674	31,461	32,970	64,431	31,300	32,888	64,188	31,140	32,805	63,945

	平成43年			平成44年			平成45年			平成46年		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
0-4歳	1,006	975	1,981	1,002	971	1,973	998	967	1,965	994	963	1,957
5-9歳	1,131	1,091	2,222	1,106	1,067	2,173	1,081	1,043	2,124	1,056	1,019	2,075
10-14歳	1,560	1,512	3,072	1,462	1,415	2,877	1,364	1,318	2,682	1,266	1,221	2,487
15-19歳	1,654	1,535	3,189	1,655	1,537	3,192	1,656	1,539	3,195	1,657	1,541	3,198
20-24歳	1,591	1,568	3,159	1,567	1,540	3,107	1,543	1,512	3,055	1,519	1,484	3,003
25-29歳	1,421	1,527	2,948	1,434	1,536	2,970	1,447	1,545	2,992	1,460	1,554	3,014
30-34歳	1,318	1,324	2,642	1,342	1,372	2,714	1,366	1,420	2,786	1,390	1,468	2,858
35-39歳	1,426	1,414	2,840	1,400	1,380	2,780	1,374	1,346	2,720	1,348	1,312	2,660
40-44歳	1,692	1,667	3,359	1,643	1,612	3,255	1,594	1,557	3,151	1,545	1,502	3,047
45-49歳	1,977	1,952	3,929	1,943	1,894	3,837	1,909	1,836	3,745	1,875	1,778	3,653
50-54歳	2,619	2,323	4,942	2,473	2,236	4,709	2,327	2,149	4,476	2,181	2,062	4,243
55-59歳	3,037	2,717	5,754	2,960	2,645	5,605	2,883	2,573	5,456	2,806	2,501	5,307
60-64歳	2,474	2,144	4,618	2,625	2,304	4,929	2,776	2,464	5,240	2,927	2,624	5,551
65-69歳	1,837	1,866	3,703	1,934	1,892	3,826	2,031	1,918	3,949	2,128	1,944	4,072
70-74歳	1,546	1,821	3,367	1,568	1,818	3,386	1,590	1,815	3,405	1,612	1,812	3,424
75-79歳	1,565	2,078	3,643	1,520	2,006	3,526	1,475	1,934	3,409	1,430	1,862	3,292
80-84歳	1,616	2,244	3,860	1,553	2,185	3,738	1,490	2,126	3,616	1,427	2,067	3,494
85歳-	1,474	2,898	4,372	1,561	3,097	4,658	1,648	3,296	4,944	1,735	3,495	5,230
合計	30,944	32,656	63,600	30,748	32,507	63,255	30,552	32,358	62,910	30,356	32,209	62,565

	平成47年		
	男	女	計
0-4歳	988	958	1,946
5-9歳	1,031	995	2,026
10-14歳	1,166	1,124	2,290
15-19歳	1,659	1,545	3,204
20-24歳	1,493	1,454	2,947
25-29歳	1,473	1,563	3,036
30-34歳	1,414	1,515	2,929
35-39歳	1,322	1,277	2,599
40-44歳	1,494	1,448	2,942
45-49歳	1,839	1,720	3,559
50-54歳	2,035	1,974	4,009
55-59歳	2,729	2,431	5,160
60-64歳	3,077	2,786	5,863
65-69歳	2,226	1,968	4,194
70-74歳	1,633	1,810	3,443
75-79歳	1,387	1,788	3,175
80-84歳	1,366	2,010	3,376
85歳-	1,824	3,695	5,519
合計	30,156	32,061	62,217